

令和8年度
ため池整備事業 白谷地区
夷隅郡大多喜町猿稻地先

白谷ため池改修工事その2 設計書

夷隅農業事務所

ため池整備事業 白谷地区
白谷ため池改修工事その2

業務箇所 夷隅郡大多喜町猿稻地先

業務内容 堤体工 N = 1.00 式

工 事 価 格 金 円也

消 費 税 相 当 額 金 円也

請 負 工 事 費 金 円也

令和 8 年度

ため池整備事業 白谷地区

白谷ため池改修工事その 2

特 別 仕 様 書

夷隅農業事務所

特 別 仕 様 書

第 1 章 総則	本工事の施工に当たっては千葉県制定「土木工事等共通仕様書」に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項はこの特別仕様書によるものとする。
第 2 章 工事内容	
1 目的	この工事は、白谷地区ため池整備事業計画に基づきため池を改修するものである。
2 工事場所	夷隅郡大多喜町猿稻地先
3 工事概要	この工事はため池改修工で、その概要は次のとおりである。 ・堤体工 N=1 式
4 工事数量	別紙工事数量表のとおりである。
第 3 章 施工条件	
1 工程関係	貯水開始は、令和 9 年 3 月中旬を予定しているため、地元の貯水開始準備作業に支障がないよう現場作業は、注意すること。
2 部分引渡	該当なし
3 工事期間	工事期間には、雨天・休日等（日曜日・祝祭日及び作業期間内の全土曜日）を見込んでいる。
第 4 章 現場条件	
1 土質	この工事の土質は、粘性土を想定している。
2 関連工事	該当なし
3 第 3 者に対する措置	(1) 騒音、振動対策 騒音・振動等の発生を伴う作業については、その対策に十分配慮するとともに関係法規を遵守し、地域住民に事前に連絡するなどの協調をはかり、工事の円滑な進捗に努めなければならない。 (2) 排出ガス対策 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「土地改良工事等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和 58 年 2 月 28 日付け 58 構改 D 第 147 号）で示す排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄

化装着の開発」、または、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備考
・バックホウ ・ブルドーザ ・振動ローラー ・発動発電機	ディーゼルエンジン (エンジン出力 7.5kw～ 260kw) を搭載した建設 機械に限る

備考

道路輸送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

(3) 濁水処理対策

汚濁水等を直接河川等に流さないよう施工方法に注意するとともに、必要に応じて流末処理（河川汚濁防止施設等）施設を設ける等、十分注意するものとする。

(4) 安全対策

- 1) 重機や資材の搬入時は、一般交通の支障とならないよう十分に配慮し、交通安全に万全を期さなければならない。
- 2) 本工事における交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、条件変更などに伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無
ストックヤード 町道部出入口	1名／日	交通誘導 警備員B	昼間	無

(5) 重量制限

該当なし

(6) 公害対策

公道等の路面を汚濁した場合は、速やかに清掃すること。
工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施し

4 環境対策等	た機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。 (1) 本工事で使用する軽油については、J I S 規格軽油を使用すること。 (2) 受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 (3) 受注者は、千葉県が運用を開始している千葉県庁エコオフィスの構成要素をなす「公共事業における環境配慮」を推進し、達成するため施工計画書“環境対策”内に、独立した項目として「環境に配慮した工事実施計画」について記載するものとする。工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。
5 関係機関との調整	(1) 工事支障物件等 工事箇所付近には、電柱及び支線があることから施工する際には注意すること。 その他、疑義がある場合は監督職員と協議すること。 (2) 工事用道路関係 資材等の運搬路として使用した道路の補修等が必要となった場合は受注者の責任において、速やかに補修すること。 (3) 石碑について ため池に設置されている石碑については、片道運搬距離 7.8km の夷隅郡大多喜町川畑地先の大多喜町役場所管の空き地へ運搬するものとする。
6 建設副産物	(1) 共通事項 1) 建設副産物 「千葉県建設リサイクル推進計画 2020」及び「千葉県建設リサイクル推進計画 2020 ガイドライン等」に基づき、下記事項により、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め各 1 部提出すること。 また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況(実績)について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、格納した電子データと出力した様式を各 1 部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間

	保存しておくこと。 なお、上記各計画書及び各実施書の作成にあたっては、「建築副産物情報交換システム(C O B R I S)」を用いて登録・作成しなければならない。 ○作成対象工事 受注金額 100 万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。 2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を 1 部提出すること。なお、建設副産物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設副産物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1 部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。 建設廃棄物の処理にあたって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、複写式伝票の D 票及び E 票の写しを提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、廃棄物処理法に基づき指定された団体が発行する、当該工事の電子マニフェスト情報を収録した磁気媒体の提出または、建設副産物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷したもの（受渡確認伝票）を提示すること。 3) 建設リサイクル法 a) 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置 ア. 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成 12 年度法律 104 号)。以下「建設リサイクル法」という。」に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。 なお、建設工事請負契約書「6. 解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明
--	---

	示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。 ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 イ. 受注者は、特定建設資材の分解解体等・再資源化が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。 ・再資源化等が完了した年月日 ・再資源化等した施設の名称及び所在地 ・再資源化等に要した費用 なお、書面に添付する資料は「建設リサイクル推進計画 2020 ガイドライン」に定めた様式 1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式 2[再生資源利用促進計画書(実施書)]とし、実施書の作成に用いたシステム(COBRIS)によることができる。 b) 請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項 ア. 建設リサイクル法第 12 条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対して、対象建設工事の届出に関する事項を記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。 イ. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。 ウ. 書面は施工計画書に添付するものとする。 (2) 建設発生土 該当なし (3) 建設廃棄物 1) コンクリート殻 本工事により発生するコンクリート殻 256.6ton は、長生郡長柄町針ヶ谷地先、片道運搬距離 23.2km の太陽建設(株)ながら合材センターに運搬し、処理するものとする。 2) 廃プラスチック 本工事により発生する廃プラスチック 1055kg は、勝浦市杉戸地先、片道運搬距離 10.4m の(株)イタミエコテックに運搬し、処理するものとする。
--	---

	なお、本工事で搬出する廃プラスチックは、搬出前に水で土を洗い流すこと。 3) 金属くず 本工事により発生する金属くず 0.3ton は、勝浦市杉戸地先、片道運搬距離 10.4m の(株)イタミエコテックに運搬し、処理するものとする。 4) 建設発生木材 本工事により発生する建設発生木材 5.4ton は、長生郡長柄町山之郷地先、片道運搬距離 26.7km の信和リース(株)に運搬し、処理するものとする。 なお、運搬に先立ち、受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
第5章 仮設備	
1 指定仮設	該当なし
2 任意仮設	本工事の仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
第6章 工事用地等	夷隅郡大多喜町猿稻字川田 221 番 1 は、発注者で 10 月上旬より借地予定である。 発注者が確保している工事用地等については、工事施工に先立ち、監督職員の立会いのうえ、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。 工事施工上必要な用地の返還に当たっては使用条件に基づき必要な措置を講じた後、発注者に通知しなければならない。
第7章 貸与設備	該当なし
第8章 支給材料	該当なし
第9章 工事用電力	この工事に使用する電力設備及び電気料金は、受注者の負担とする。
第10章 工事材料	
1 規格及び品質	この工事で使用する主要材用の規格品質は資材集計表に記

2見本または資料提出

3監督職員の検査または試験

第11章 施工

1 一般事項

載のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書等を提出しなければならない。

下記に示す工事材料は、使用前に見本、カタログ、試験成績書等を監督職員に提出し承認を得なければならない。なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

また、コンクリート二次製品については、「1 規格及び品質」で示す1) から3) のアルカリ骨材反応抑制対策のうち、いずれかの対策を講じるかをあわせて報告するものとする。

ただし、対策を講じる前に製造された製品は、受注者が立会い使用した骨材を採取し、試験を行い、結果を報告するものとする。

材料名	提出物
遮水シート	カタログ等
セメント系固化材	試験成績表等
J I S 規格製品以外のもの	カタログ、試験成績書、見本、分析表、色見本等のうち必要なもの

該当なし。

設計図書を熟読し、施工内容を十分把握すること。特に完成時確認が困難な工種については直接測定、撮影記録等による施工管理を十分に行うこと。また、受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。不明な点については監督職員と打合せを行うこと。

(1) 水準点

本工事で使用する基準点は、令和6年度白谷用地及び路線測量業務の基準点を使用すること。

(2) 検測又は確認

この工事の検測、確認を下記の段階で受けなければならない。

工種	作業段階	備考
地盤改良工（堤体下部、堤体法先	地盤改良後	改良深、幅、施工延長

	部、堤体築堤土)		
	カットオフ掘削	掘削完了時	掘削深、幅、施工延長
	遮水シート布設工	布設前、完了時	布設面、幅、施工延長
	盛土工	完了時	基準高、幅、施工延長
	土の一軸圧縮試験	地盤改良前、施工中	堤体下部、堤体法先、堤体築堤土、試験成績表
	土の粒度試験	埋戻前、盛土材料変更前	堤体掘削土、地盤改良土（堤体築堤土）
	塑性液性試験	埋戻前、盛土材料変更前	堤体掘削土、地盤改良土（堤体築堤土）
	六価クロム溶出試験	地盤改良前	計量証明書
	その他	監督職員が指定した項目	

2中間検査

本工事は、千葉県建設工事検査要綱第4条に規定する中間検査の指定対象工事とし、中間検査を実施する。

(1) 中間検査の実施は、中間検査実施細目に基づき検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の変化点等で行うが実施時期は監督職員が指定する。

なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。

(2) 中間検査は、通知日までに完了した出来形部分の出来形確認及び技術的確認等を行うが、給付の対象とはしない。

(3) 工種及び項目・時期は次の表のとおりとする。

工種	作業段階	備考
地盤改良工（堤体下部、堤体法先部）	地盤改良後	改良深、幅、施工延長

3堤体工

(1) 掘削工

1) 掘削土は、ストックヤードに集積する。

	2) 掘削作業は、降水量おおむね 5mm 以上の場合、あるいは現場状況を判断して作業不可能な場合は直ちに作業を停止する。 3) スtockヤードでの土管理は、雨水などが入らないよう、シート等でおおい管理をすること。 4) 構造物の施工箇所は、基礎地盤の状況、高さを確認しながら掘削を行い、丁寧に整形すること。 (2) 盛土工 1) まきだしの際に草木根や石が混入している場合は、取り除くこと。 2) 転圧作業は、仕上り厚 30cm、転圧回数 6 回以上を目安としているが、盛土材料変更時に行う現場試験において、工事施工管理基準で定めている規格値を求める。現場試験の結果が出るまで次層の施工は行わないこと。締固めが不十分な場合は、再度転圧、現場試験を行い、十分な締固め度を確認すること。 3) 機械施工ができない部分については、タンパ、コンパクタ等で入念に仕上げる。床堀部の盛土には、基礎及び遮水土の接触を密にし、湧水がある場合には監督職員と協議するものとする。 4) 降雨、降雪その他の事由により過度に加湿・乾燥土となった盛土用土は利用してはならない。まきだした土は、その日のうちに締固めを完了することを原則とする。 5) 法面部の盛土については、0.5m～1.0m 程度の広さまでまき出しし、十分締固めを行い、はみ出した部分は盛土完了後に切り取って仕上げるものとする。 6) 霜柱等の凍結した表土は、除去して転圧する。盛土の施工中において、用土の不足、転圧の不十分、受注者の不注意による湧水、盛土と法面の崩壊などがあった場合には、その部分及びこれに関連する部分の盛土について再施工を命ずることがある。 7) 築堤現場は、常に排水を十分にし、雨水等が盛土部分に残留しないよう緩勾配となるよう仕上げなければならない。 8) 現堤体（旧堤）は、比較的高含水比な粘土で築造されている場合が多く、掘削後に時間の経過とともにレンズ状のクラックが発生し、未処理のまま施工すると漏水の原因となるので、このクラックが発生したら除去した後まきだし転圧をする。
--	--

第 1 2 章 施工管理	(3) 遮水シート布設工 遮水シートを布設する際には、埋戻部を整形し、遮水シート布設面を平滑にしてから布設すること。 堤体法先へ遮水シートを布設するために行うカットオフ掘削は、基礎地盤である粘性土層（Ac1 層）を確認し、盛土層（B 層）以深に敷設すること。 (1) 工事の施工管理は「工事施工管理基準(農業農村整備事業)」により実施する。 (2) 工事写真における黒板情報の電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、電子情報として被写体画像と同時に黒板の記載情報を記録してデータ化することにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで、工事写真における黒板情報の電子化を実施するものとし、以下の 1) から 4) のすべてを実施するものとする。 1) 使用する機器・ソフトウェア 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、工事施工管理基準（農業農村整備事業） 第 1 土木工事施工管理基準 第 3 項 撮影記録による出来形管理」※に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」 (URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。 2) 機器等の導入 a) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が選定及び調達するものとする。使用機器等の事例として、 URL(http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html)1)記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この事例中の機器に使用を限定するものではない。 b) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等について、工事着手前に提示するものとする。 c) 機器等の導入に係る費用は、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。機器等の導入に係る費
---------------------	---

第 1 3 章 電子納品	用とは、工事写真における黒板情報の電子化の実施に必要な機器等の機械経費及び電算使用料等を指す。 3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い a) 受注者は、1) の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。 b) 本工事の工事写真の取扱いは、「工事施工管理基準（農業農村整備事業） 第 1 土木工事施工管理基準 第 3 項 撮影記録による出来形管理」※ 及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。 c) a) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。 d) 黒板情報の電子化を実施した場合は、従来の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。 4) 写真の納品 a) 受注者は、3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。 b) 受注者は納品時に URL (https://www.jcomsia.org/kokuban) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェア及び工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ、工事打合せ簿により提出するものとする。 c) 提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。 (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは「工事完成図書の電子納品要領（案）：以下「要領」という」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で正副 2 部を提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを
---------------------	---

	提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。 なお、電子納品の運用に当たっては、「電子納品運用ガイドライン（案）」を参考にするものとする。 (3) 工事完成図書の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出をすること。 (4) 本工事の電子成果品は（公財）千葉県建設技術センター（以下、「センター」という。）による一元保管管理の対象とする。本契約締結後、センターへの登録申請をすみやかに行うとともに申請後に発行される。「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」は監督職員へ提出すること。また契約変更等に伴う 修正申請も遅滞なく行う必要があるが、その都度の「事前受付書」提出は求めない。完成検査において合格と認められた電子媒体副本については、原則として検査後一週間以内に、最終版の「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」（監督職員記名済写し）を添えてセンターへ送付すること。 (5) 本工事の電子成果品は土木工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。
第14章 条件変更の 補足説明	この工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は以下のとおり。 ・ 掘削土の土質 ・ 転石の出現 ・ 破碎帯の出現 ・ 基礎地盤線の変更 ・ 異常湧水の出現 ・ 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現 ・ 地盤改良材、配合量で想定している改良後の強度と現場試験による改良後強度 ・ その他
第15章 設計変更	(1) 設計変更等については、契約書第19条から第25条及び土木工事共通仕様書第1編共通編1-1-18から1-1-20に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約にお

	ける設計変更等ガイドライン(総合版)令和3年1月」によることとする。 (2) 運搬費及び準備費の設計変更について 1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費(以下「実績変更対象経費」という。)について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。 運搬費: 建設機械の運搬費 準備費: 伐開・除根・除草費 2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合(以下「割合」という。)を提示する。 3) 受注者は、2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。 4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書(以下「内訳書」という。)を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類(領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。 6) 発注者は、内訳書を精査したうえで、「実績額」と「率計上額」の差額を、共通仮設費積上分に計上する。 7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。 8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。 (3) 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について 1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費(以下「実績変更対象経費」という。)については、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった
--	--

第16章 三者会議	場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。 3) 受注者は、2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者は別に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「計画書」という。）を作成し、監督職員に提出するものとする。 4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「変更計画書」という。）を作成するとともに、変更計画書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。 6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から「計画書に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。 7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。 8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。 三者会議は、公共工事の品質及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行うもので
------------------	---

	ある。 本工事では、施工者から「三者会議」の開催の申し出があった場合、協議のうえ、明らかに三者会議の必要性が乏しいと判断される場合を除き、「三者会議」を開催するものとする。 施工者は、「三者会議」の開催を要請する場合、監督職員と協議するものとする。
第17章 公共事業関係調査に対する協力	本工事の実施に伴い、調査依頼があった場合は協力すること。 なお、調査要領等については、監督職員の指示によるものとする。
第18章 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事	本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。 工事の実施にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の施行要領」に基づき行うこと。
第19章 法定外の労災保険の付保	本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
第20章 快適トイレ	(1) 本工事は、快適トイレ対象工事である。 (2) 受注者は、当該工事の現場に快適トイレを設置する場合は、事前に工事打合せ簿により設置基数、設置期間、仕様について、監督職員と協議すること。 (3) 快適トイレは、以下の1)～11)の仕様を満たすこと。 なお、12)～17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。 【トイレに求める機能】※必須 1) 洋式便器 2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む） 3) 臭い逆流防止機能 4) 容易に開かない施錠機能 5) 照明設備 6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする） 【付属品として備えるもの】※必須

第21章 週休2日制適用工事	7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 8) 入口の目隠しの設置 (男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) 9) サニタリーボックス (女性用トイレに必ず設置) 10) 鏡と手洗器 11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様, 付属品】※任意 12) 室内寸法 900×900mm 以上 (面積ではない) 13) 擬音装置 (機能を含む) 14) 着替え台 15) 臭気対策機能の多重化 16) 室内温度の調整が可能な設備 17) 小物置き場 (トイレットペーパー予備置き場等) (4) 快適トイレの設置に要する費用は, 通常の仮設トイレとの差額として, 1 基あたり 51,000 円/月を上限に, 発注者が負担する。ただし, 工事期間中に, 通常の仮設トイレから快適トイレに変更した場合, 又は快適トイレから通常の仮設トイレに変更した場合は, 費用負担の対象としない。 (5) 発注者が費用負担する快適トイレは, 1 現場 1 基までとする。ただし, 男女別に設置する場合には, 1 現場 2 基までとする。 (6) 発注者が負担する快適トイレの設置に要する費用は, 設計変更で対応する。 (7) 受注者は, 快適トイレに係る支出実態のわかる資料を, 監督職員に提出すること。 (8) 受注者は, 発注者が快適トイレに関するアンケートを実施する場合は, 監督職員が指定した期日までにアンケートを提出すること。 (1) 本工事は、週休2日制適用工事である。 (2) 受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日達成相当の経費を補正している。 (3) 受注者が週休2日交替制工事を希望するときは、受発注者間で協議し週休2日交替制工事に変更することができる。 (4) 受注者が、工事着手前に週単位の週休2日の取組を希望し、なおかつ対象期間内での週単位の週休2日相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものと
-----------------------	--

第22章 ICT活用工事について	する。 (5) 週休2日制の実施にあたっては、「千葉県農業農村整備事業における週休2日制適用工事試行要領（令和7年10月版）」に基づき行うこと。 (1) 本工事は、ICT施工技術の活用による建設現場の生産性向上を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、出来形管理資料の作成等の各段階において、3次元データを用いた情報化施工技術を活用するICT活用工事の試行工事である。 【対象工種】土工、ため池改修工、地盤改良工 (2) 試行工事を実施する場合は、契約後、施工計画書の提出までに「ICT活用工事計画書」により発注者と協議を行い、協議が整った場合にICT施工技術を活用した工事を試行できるものとする。 (3) ICT活用工事を実施する場合は、実施した施工技術の内容に応じて、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）や「千葉県農業農村整備事業におけるICT活用工事試行要領」（以下、試行要領）に基づいて、設計変更を行い、必要な経費を計上する。 (4) 試行工事の実施の詳細は、試行要領によるものとする。
第23章 情報共有システムの活用について	(1) 本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。 (2) 実施に当たっては「千葉県農業農村整備事業情報共有システム実施要領」に基づくものとする。
第24章 千葉県建設キャリアアップシステム活用工事について	(1) 本工事は、千葉県建設キャリアアップシステム活用工事の対象とする。 (2) 受注者は、工事の締結後、CCUS活用の希望の有無について、監督職員と協議すること。 (3) 工事の実施にあたっては、「千葉県建設キャリアアップ活用工事試行要領」に基づき行うこと。
第25章 遠隔臨場	本工事について遠隔臨場の試行を希望する場合は、発注者と協議し、試行可能と回答が得られた場合は「遠隔臨場試行工事（発注者指定型）」とすることができる。 1 「建設現場の遠隔臨場に関する試行工事（以下、「本試行工

事」という。)は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、本試行工事は「千葉県農業農村整備事業における建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」の内容に従い実施する。

2 試行内容

(1) 段階確認・材料確認、立会での確認

①受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影した映像と音声をスマートフォン向けのTV電話やWeb会議システムを利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。

②確認実施者が現場技術員の場合は、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保存する。(従来の立会資料の管理同様とする。)

③ウェアラブルカメラとは、ヘルメットや体に装着や着用可能(ウェアラブル; Wearable)なデジタルカメラの総称であり使用製品を限定するものではない。一般的なAndroidやiPhone等のモバイル端末を使用することも可能である。なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「材料確認」と「立会」だけでなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 機器の準備

本試行工事に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとし、発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)や既に使用しているWeb会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 効果の検証

本試行工事を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

第 2 6 章 難工事の指定について	本工事は、難工事として指定した工事である。
第 2 7 章 その他	この仕様書に定めのない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

令和 8 年度

ため池整備事業

白谷ため池改修工事その 2

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 堤体工				
(1) 撤去工				
ネットフェンス撤去工		m	33.300	
運搬工	ネットフェンス廃材	台	1.000	
運搬工	石碑	台	1.000	
構造物取壊し工	張りブロック	m3	83.000	
構造物取壊し工	張りコンクリート	m3	26.000	
小運搬工	無筋コンクリート殻、堤体からストックヤード	m3	109.000	
運搬工	無筋コンクリート殻	m3	109.000	
処分工	無筋コンクリート殻	ton	256.600	
(2) 掘削工				
表土はぎ		m3	71.000	
掘削工		m3	1,700.000	
段切掘削工		m3	250.000	
床掘工		m3	320.000	
土砂等運搬工	堤体からストックヤード	m3	2,700.000	
堆積土掘削工		m3	330.000	
(3) 埋戻工				
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m3	2,100.000	
土砂等運搬工	改良土	m3	640.000	
埋戻工	B<1.0m	m3	19.000	
埋戻工	1.0m≤B<2.5m	m3	38.000	
埋戻工	2.5m≤B<4.0m	m3	250.000	
埋戻工	4.0m≤B	m3	2,100.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(4)盛土工				
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m3	250.000	
盛土工	B<1.0m	m3	36.000	
盛土工	1.0m≦B<2.5m	m3	2.000	
盛土工	2.5m≦B<4.0m	m3	25.000	
盛土工	4.0m≦B	m3	160.000	
盛土法面整形工	上流側	m ²	1,010.000	
盛土法面整形工	下流側	m ²	66.000	
(5)遮水シート布設工				
切土法面整形工	段切部	m ²	560.000	
切土水平面整形工	段切部	m ²	810.000	
小運搬工	遮水シート	ton	5.990	
遮水シート布設工	ベントナイト含有量 4kg/m2以上	m ²	1,250.000	
ベントナイトシート	ベントナイト含有量 4kg/m2以上,,	m ²	1.080	
(6)地盤改良工				
地盤改良工	築堤不足土,セメント系固 化材,改良深1.0m	m ²	635.000	
購入土		m3	300.000	
地盤改良工	堤体法先部、セメント系 固化材,改良深1.50m	m ²	207.000	
地盤改良工	堤体下部,セメント系固 化材,改良深2.0m	m ²	160.000	
小運搬工	セメント系固化材	ton	360.500	
小運搬工	廃プラスチック(改良材 空袋)	ton	0.700	
運搬工	廃プラスチック(改良材 空袋)	台	1.000	
処分工	廃プラスチック(改良材 空袋)	kg	720.000	
2. 仮設工				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(1)ストックヤード1				
土木シート敷設工		m ²	195.000	
敷鉄板設置・撤去工		m ²	195.000	
(2)進入路 1				
掘削工		m ³	250.000	
土砂等運搬工		m ³	280.000	
路体盛土工	B≧4.0m	m ³	250.000	
(3)洪水吐進入路				
大型土のう製作・設置・撤去工		袋	50.000	
運搬工	廃プラスチック（改良材空袋）	台	1.000	
処分工	廃プラスチック（大型土のう空袋）	kg	100.000	
敷鉄板設置・撤去工		m ²	72.000	
角材		本	2.000	
(4)施工ヤード				
小運搬工	セメント系固化材	ton	60.300	
地盤改良工	施工ヤード,セメント系固化材,改良深1.5m	m ²	158.000	
敷鉄板設置・撤去工		m ²	364.000	
(5)仮締切排水工				
仮締切土工		m ³	89.000	
排水用釜場設置工		箇所	1.000	
排水用釜場撤去工		箇所	1.000	
排水ポンプ据付撤去工		箇所	1.000	
排水ポンプ運転工		箇所	1.000	
暗渠排水管据付撤去工		箇所	1.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(6)産業廃棄物処理工				
小運搬工	廃プラスチック（改良材空袋）	ton	0.100	
運搬工	廃プラスチック（改良材空袋）	台	1.000	
処分工	廃プラスチック（改良材空袋）	kg	122.000	
運搬工	廃プラスチック（土木シート）	台	1.000	
処分工	廃プラスチック（土木シート）	kg	111.000	
(7)安全費				
交通誘導警備員		人	3.000	
3. その他				
(1)運搬費				
運搬費				
運搬費				
敷鉄板運搬費	ストックヤード	ton	108.870	
小運搬工	ストックヤードから堤体	ton	75.190	
小運搬工	堤体からストックヤード	ton	75.190	
(2)準備費				
準備費				
伐採等枝葉処分費				
伐採工		ha	0.030	
集積工		ha	0.030	
運搬工	伐採枝葉	空m3	6.800	
処分工	伐採枝葉	ton	5.400	
(3)技術管理費				
土質試験費				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
土質試験費				
配合試験		式	2.000	
一括計上価格				
1. 土壌分析				
(1)土壌分析				
六価クロム溶出試験		検体	1.000	
2. 付帯工				
(1)撤去工				
処分工	金属くず	ton	0.300	

1 - (1) 撤去工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
撤去工				
ネットフェンス撤去工	計算書より	m	33.3	
運搬工(ネットフェンス廃材, 金属くず)	計算書より	台	1.0	
運搬工(石碑)	計算書より	台	1.0	
構造物取壊し工(張りブロック, 無筋)	計算書より	m3	83.4	
構造物取壊し工(張りコンクリート, 無筋)	計算書より	m3	25.8	
小運搬工(無筋コンクリート殻)	計算書より	m3	109.2	
運搬工(無筋コンクリート殻)	計算書より	m3	109.2	
処分工(無筋コンクリート殻)	計算書より	ton	256.57	

1 - (1) 撤去工 数量計算書

名称	略図及び計算式	単位	数量
撤去工			
ネットフェンス撤去工	撤去工図より 33.25 = 33.3	m	33.3
運搬工(ネットフェンス殻)	1.00 = 1.0	台	1.0
運搬工(石碑)	1.00 = 1.0	台	1.0
構造物取壊し工 (張りブロック, t=100)	堤体工計算書より 833.80 = 833.80	m2	
	833.80*0.10 = 83.38	m3	83.4
構造物取壊し工 (張りコンクリート, t=150)	撤去工図より 172.0m ² *0.15 = 25.80	m3	25.8
小運搬工(無筋コンクリート殻) 堤体からストックヤード			
張りブロック	83.38 = 83.38	m3	
張りコンクリート	25.80 = 25.80	m3	
合計	83.38+25.80 = 109.18	m3	109.2
運搬工(無筋コンクリート殻)	109.18 = 109.18	m3	109.2
処分工(無筋コンクリート) 無筋コンクリート2.35ton/m3	109.18m3*2.35ton/m3 = 256.573	ton	256.57

1－(2) 掘削工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
掘削工				
表土はぎ	計算書より	m3	70.5	
掘削工	計算書より	m3	1729.6	
段切掘削工	計算書より	m3	254.7	
床掘工	計算書より	m3	320.3	
土砂等運搬工（堤体からストックヤード）	$70.5 + 1729.6 + 254.7 + 320.3 + 333.4$	m3	2708.5	
堆積土掘削工	仮設図より $(221.3 + 195.5) \times 0.8$	m3	333.4	

1－(3) 埋戻工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
埋戻工				
土砂等運搬工（ストックヤードから堤体）	2708.5-70.5-333.4-247.6	m3	2057.0	
土砂等運搬工（改良土）不足土	地盤改良工 数量集計表より	m3	635.1	
埋戻工（ $B < 1.0\text{m}$ ）	計算書より	m3	18.7	
埋戻工（ $1.0\text{m} \leq B < 2.5\text{m}$ ）	計算書より	m3	38.3	
埋戻工（ $2.5\text{m} \leq B < 4.0\text{m}$ ）	計算書より	m3	250.8	
埋戻工（ $4.0 \leq B$ ）	計算書より	m3	2115.1	

1 - (4) 盛土工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
盛土工				
土砂等運搬工（ストックヤードから堤体）	$(36.3+1.5+25.2+159.8)/0.9$	m3	247.6	
盛土工（ $B < 1.0\text{m}$ ）	計算書より	m3	36.3	
盛土工（ $1.0\text{m} \leq B < 2.5\text{m}$ ）	計算書より	m3	1.5	
盛土工（ $2.5\text{m} \leq B < 4.0\text{m}$ ）	計算書より	m3	25.2	
盛土工（ $4.0 \leq B$ ）	計算書より	m3	159.8	
盛土法面整形工（上流側）	計算書より	m2	1012.8	
盛土法面整形工（下流側）	計算書より	m2	66.0	

1 - (5) 遮水シート布設工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
遮水シート布設工				
切土法面整形工(段切部)	計算書より	m2	560.7	
切土水平面整形工(段切部)	計算書より	m2	809.9	
小運搬工(遮水シート)	ベントナイトシート 4.8kg/m2 1247.9*4.8/1000	ton	5.990	
遮水シート布設工	計算書より	m2	1247.9	

堤体工数量計算表

表土はぎ	V=	70.5	m3	段切掘削	V=	254.7	m3
掘削	V=	1,729.6	m3	床掘	V=	320.3	m3

断面	距離	表土はぎ			掘削			段切掘削			床掘			備考
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
		A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	
		m												
No. 0 - 9.780	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
- 1.838	7.198	2.46	1.23	8.85	31.24	15.62	112.43	3.31	1.66	11.95	5.49	2.75	19.79	
+ 7.000	8.010	0.98	1.72	13.78	30.41	30.83	246.95	4.76	4.04	32.36	5.10	5.30	42.45	
No. 1	13.000	0.93	0.96	12.48	31.26	30.84	400.92	4.65	4.71	61.23	5.49	5.30	68.90	
No. 2	20.000	1.03	0.98	19.60	29.79	30.53	610.60	4.65	4.65	93.00	5.49	5.49	109.80	
No. 2 + 0.050	0.050	1.03	1.03	0.03	29.79	29.79	0.75	4.65	4.65	0.12	5.49	5.49	0.14	No.2断面流用
No. 2 + 12.260	0.000	0.00	0.00	0.00	15.57	0.00	0.00	1.40	0.00	0.00	6.05	0.00	0.00	洪水吐部土工
No. 2 + 18.210	5.950	3.09	1.55	9.22	27.63	21.60	128.52	4.65	3.03	18.03	5.49	5.77	34.33	〃
No. 2 + 18.210	0.000	3.09	0.00	0.00	27.63	0.00	0.00	4.65	0.00	0.00	5.49	0.00	0.00	
No. 3	1.790	0.23	1.66	2.97	27.18	27.41	49.06	4.65	4.65	8.32	5.49	5.49	9.83	
No. 3 + 2.900	2.900	0.23	0.23	0.67	27.18	27.18	78.82	4.65	4.65	13.49	5.49	5.49	15.92	No.3断面流用
EP	6.957	0.60	0.42	2.92	2.01	14.60	101.57	0.00	2.33	16.21	0.00	2.75	19.13	
No2+0.000~No2+0.050については、No2+0.050*(0.05)/2/0.05で数量を再計算する。														
合 計	65.855			70.52			1,729.62			254.71			320.29	
			改め	70.5		改め	1,729.6		改め	254.7		改め	320.3	

堤体工数量計算表

段切部法面整形	A=	560.7	m2	埋戻1 (B<1.0m)	V=	18.7	m3
段切部水平面整形	A=	809.9	m2	埋戻2 (1.0m≤B<2.5m)	V=	38.3	m3

断面	距離	段切部法面整形			段切部水平面整形			埋戻1			埋戻2			備考	
								(B<1.0m)			(1.0m≦B<2.5m)				
		延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積		
		L (m)	L (m)	A (m2)	L (m)	L (m)	A (m2)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)		
No. 0	- 9.780	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	- 1.838	7.198	10.25	5.13	36.93	14.65	7.33	52.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	+ 7.000	8.010	8.94	9.60	76.90	14.04	14.35	114.94	0.00	0.00	0.00	0.62	0.31	2.48	
No. 1		13.000	9.79	9.37	121.81	14.12	14.08	183.04	0.00	0.00	0.00	0.47	0.55	7.15	
No. 2		20.000	9.73	9.76	195.20	14.12	14.12	282.40	0.00	0.00	0.00	0.44	0.46	9.20	
No. 2	+ 0.050	0.050	9.73	9.73	0.25	14.12	14.12	0.36	0.00	0.00	0.00	0.44	0.44	0.01	No.2断面流用
No. 2	+ 12.260	0.000	7.45	0.00	0.00	6.40	0.00	0.00	0.15	0.00	0.00	1.65	0.00	0.00	洪水吐部土工
No. 2	+ 18.210	5.950	9.73	8.59	51.11	14.12	10.26	61.05	0.64	0.40	2.38	1.13	1.39	8.27	〃
No. 2	+ 18.210	0.000	9.73	0.00	0.00	14.12	0.00	0.00	0.64	0.00	0.00	1.13	0.00	0.00	
No. 3		1.790	9.60	9.67	17.31	14.12	14.12	25.27	0.65	0.65	1.16	1.19	1.16	2.08	
No. 3	+ 2.900	2.900	9.60	9.60	27.84	14.12	14.12	40.95	0.65	0.65	1.89	1.19	1.19	3.45	No.3断面流用
EP		6.957	0.00	4.80	33.39	0.00	7.06	49.12	3.16	1.91	13.29	0.43	0.81	5.64	
No2+0.000～No2+0.050については、No2+0.050*(0.05)/2/0.05で数量を再計算する。															
合 計	65.855			560.74			809.89			18.72				38.28	
			改め	560.7		改め	809.9		改め	18.7		改め		38.3	

堤体工数量計算表					
埋戻3 (2.5m ≤ B < 4.0m)	V=	250.8	m ³	盛土1 (B < 1.0m)	V= 36.3 m ³
埋戻4 (4.0m ≤ B)	V=	2,115.1	m ³	盛土2 (1.0m ≤ B < 2.5m)	V= 1.5 m ³

断面	距離	埋戻3			埋戻4			盛土1			盛土2			備考	
		(2.5m≦B<4.0m)			(4.0m≦B)			(B<1.0m)			(1.0m≦B<2.5m)				
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積		
		A (㎡)	A (㎡)	V (m3)	A (㎡)	A (㎡)	V (m3)	A (㎡)	A (㎡)	V (m3)	A (㎡)	A (㎡)	V (m3)		
No.0	- 9.780	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	- 1.838	7.198	0.00	0.00	0.00	43.71	21.86	157.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	+ 7.000	8.010	3.04	1.52	12.18	38.33	41.02	328.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
No.1		13.000	4.15	3.60	46.80	37.55	37.94	493.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
No.2		20.000	3.16	3.66	73.20	38.48	38.02	760.40	0.00	0.00	0.00	0.04	0.02	0.40	
No.2	+ 0.050	0.050	3.16	3.16	0.08	38.48	38.48	0.96	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.00	No.2断面流用
No.2	+ 12.260	0.000	3.06	0.00	0.00	18.10	0.00	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	洪水吐部土工
No.2	+ 18.210	5.950	5.16	4.11	24.45	33.79	25.95	154.40	1.92	1.25	7.44	0.00	0.00	0.00	〃
No.2	+ 18.210	0.000	5.16	0.00	0.00	33.79	0.00	0.00	1.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
No.3		1.790	12.29	8.73	15.63	26.11	29.95	53.61	2.56	2.24	4.01	0.00	0.00	0.00	
No.3	+ 2.900	2.900	12.29	12.29	35.64	26.11	26.11	75.72	2.56	2.56	7.42	0.00	0.00	0.00	No.3断面流用
EP		6.957	0.00	6.15	42.79	0.00	13.06	90.86	2.44	2.50	17.39	0.31	0.16	1.11	
No2+0.000～No2+0.050については、No2+0.050*(0.05)/2/0.05で数量を再計算する。															
合 計	65.855			250.77			2,115.09			36.26			1.51		
			改め	250.8		改め	2,115.1		改め	36.3		改め	1.5		

堤体工数量計算表

盛土3 (2.5m≤B<4.0m)	V=	25.2	m3	盛土法面整形 (上流)	A=	1,012.8	m2
盛土4 (4.0m≤B)	V=	159.8	m3	盛土法面整形 (下流)	A=	66.0	m2

断面	距離	盛土3			盛土4			盛土法面整形（上流）			盛土法面整形（下流）			備考	
		(2. 5m≦B<4. 0m)			(4. 0m≦B)										
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	面積	延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積		
		m	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	L (m)	L (m)	A (m2)	L (m)	L (m)		A (m2)
No. 0	- 9. 780	0. 000	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	
	- 1. 838	7. 198	0. 00	0. 00	0. 00	20. 07	10. 04	72. 27	16. 96	8. 48	61. 04	0. 00	0. 00	0. 00	
	+ 7. 000	8. 010	0. 61	0. 31	2. 48	0. 10	10. 09	80. 82	17. 28	17. 12	137. 13	0. 18	0. 09	0. 72	
No. 1		13. 000	0. 50	0. 56	7. 28	0. 00	0. 05	0. 65	16. 96	17. 12	222. 56	0. 15	0. 17	2. 21	
No. 2		20. 000	0. 50	0. 50	10. 00	0. 14	0. 07	1. 40	16. 96	16. 96	339. 20	0. 55	0. 35	7. 00	
No. 2	+ 0. 050	0. 050	0. 50	0. 50	0. 02	0. 14	0. 14	0. 01	16. 96	16. 96	0. 43	0. 55	0. 55	0. 02	No. 2断面流用
No. 2	+ 12. 260	0. 000	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	9. 17	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	洪水吐部土工
No. 2	+ 18. 210	5. 950	0. 50	0. 25	1. 49	0. 40	0. 20	1. 19	16. 96	13. 07	77. 77	4. 98	2. 49	14. 82	〃
No. 2	+ 18. 210	0. 000	0. 50	0. 00	0. 00	0. 40	0. 00	0. 00	16. 96	0. 00	0. 00	4. 98	0. 00	0. 00	
No. 3		1. 790	0. 47	0. 49	0. 88	0. 42	0. 41	0. 73	16. 96	16. 96	30. 36	5. 05	5. 02	8. 99	
No. 3	+ 2. 900	2. 900	0. 47	0. 47	1. 36	0. 42	0. 42	1. 22	16. 96	16. 96	49. 18	5. 05	5. 05	14. 65	No. 3断面流用
EP		6. 957	0. 00	0. 24	1. 67	0. 00	0. 21	1. 46	10. 37	13. 67	95. 10	0. 00	2. 53	17. 60	
No2+0. 000～No2+0. 050については、No2+0. 050*(0. 05)/2/0. 05で数量を再計算する。															
合 計		65. 855			25. 18			159. 75			1, 012. 77			66. 01	
				改め	25. 2			改め		改め	1, 012. 8			改め	66. 0

堤体工数量計算表

張りブロック撤去	A=	833.8	m2
ベントナイトシート	A=	1247.9	m2

断面	距離	張りブロック撤去			ベントナイトシート			備考			
		延長	平均延長	面積	延長	平均延長	面積				
		L (m)	L (m)	A (m2)	L (m)	L (m)	A (m2)				
No. 0	- 9.780	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00					
-	1.838	7.198	12.19	6.10	19.78	9.89	71.19				
+	7.000	8.010	12.19	12.19	22.02	20.90	167.41				
No. 1		13.000	14.93	13.56	21.75	21.89	284.57				
No. 2		20.000	14.52	14.73	21.75	21.75	435.00				
No. 2	+ 0.050	0.050	14.52	14.52	21.75	21.75	0.55	No. 2断面流用			
No. 2	+ 12.260	0.000	8.33	0.00	11.66	0.00	0.00	(No. 2+12.26) 構造物接着面積=5.35m2 (図測)	洪水吐部断面		
No. 2	+ 18.210	5.950	14.37	11.35	21.75	16.71	99.42		洪水吐部断面		
No. 2	+ 18.210	0.000	14.37	0.00	21.75	0.00	0.00				
No. 3		1.790	14.52	14.45	21.75	21.75	38.93				
No. 3	+ 2.900	2.900	14.52	14.52	21.75	21.75	63.08		No. 3断面流用		
EP		6.957	10.05	12.29	0.00	10.88	75.69				
								(No. 2+18.21) 構造物接着面積=6.75m2 (図測)			
No2+0.000~No2+0.050については、No2+0.050*(0.05)/2/0.05で数量を再計算する。											
								(合計)	1235.84+5.35+6.75	=	1247.94
合 計	65.855			833.81			1,235.84				1,247.94
			改め	833.8		改め	1,235.8			改め	1,247.9

1 - (6) 地盤改良工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
地盤改良工				
地盤改良工（不足土, セメント系固化材, 改良深1.0m)	計算書より	m2	635.1	
購入土	計算書より	m3	301.7	
地盤改良工（堤体法先部, セメント系固化材, 改良深1.5m)	計算書より	m2	206.9	
地盤改良工（堤体下部, セメント系固化材, 改良深2.0m)	計算書より	m2	160.0	
小運搬工(セメント系固化材)	計算書より	ton	360.51	
小運搬工(廃プラスチック, 改良材空袋)	計算書より	ton	0.72	
運搬工(廃プラスチック, 改良材空袋)	計算書より	台	1.0	
処分工（廃プラスチック, 改良材空袋）	計算書より	kg	722.0	

1 - (6) 地盤改良工 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
地盤改良工			
地盤改良工(不足土, セメント系固化材, 改良深1.0m, 添加量255kg/m3)	必要土量 (埋戻工総量+盛土工総量) /0.9 $(2422.9+222.8)/0.9 = 2,939.67$ 掘削土量 (掘削工+段切掘削工+床掘工+堆積土掘削工) $(1729.6+254.7+320.3+333.4) = 2,638.00$ 不足土量 $2939.67-2638.00 = 301.67$ 地盤改良面積 (不足土量+堆積土掘削工) /1.0 $(301.67m^3+333.4m^3)/1.0m = 635.07$	m3 m3 m3 m2	 635.1
購入土	不足土量より $301.67 = 301.67$	m3	301.7
地盤改良工 (堤体法先部、セメント系固化材) 改良深 H=1.5m, 添加量315kg/m3)	地盤改良工図より $146.88+60.04 = 206.92$	m2	206.9
地盤改良工 (堤体下部、セメント系固化材) 改良深 H=2.0m, 添加量315kg/m3)	地盤改良工図より $124.30+35.69 = 159.99$	m2	160.0
小運搬工 (セメント系固化材) ストックヤードから堤体	$\{255kg*1.0m*635.07m^2$ $+315kg*(206.92m^2*1.5m+159.99m^2*2.0m)\}/1000$ $= 360.50625$	ton	360.51
小運搬工 (廃プラスチック, 改良材空袋) 堤体からストックヤード	固化材(1.0ton/袋)使用量 $360.50549 = 360.50625$ 使用袋数 $= 361.00$ 改良材空袋重量 $= 2.00$ $361袋*2kg/1000 = 0.722$	ton 袋 kg/袋 ton	360.51 361.0 2.0 0.72
運搬工 (廃プラスチック, 改良材空袋)	$1.00 = 1.00$	台	1.0
処分工 (廃プラスチック, 改良材空袋)	$361*2 = 722.00$	kg	722.0

2 - (1) スtockヤード 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
ストockヤード1				
土木シート敷設・撤去工	仮設図より	m2	195.1	
敷鉄板設置・撤去工	仮設図より	m2	195.1	

2 - (1) スtockヤード 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式			単 位	数 量
ストックヤード1					
土木シート敷設・撤去工	195.10	=	195.10	m2	195.1
敷鉄板設置・撤去工	195.10	=	195.10	m2	195.1

2 - (2) 進入路 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
進入路1				
掘削工	計算書より	m3	254.5	
土砂等運搬工	計算書より	m3	282.8	
路体盛土工 (B $\geq$ 4.0m)	計算書より	m3	254.5	
洪水吐進入路				
大型土のう製作・設置・撤去工	計算書より	袋	50.0	
運搬工 (廃プラスチック, 大型土のう空袋)	計算書より	台	1.0	
処分工 (廃プラスチック, 大型土のう空袋)	計算書より	kg	100.0	
敷鉄板設置・撤去工	計算書より	m2	72.0	
角材	計算書より	本	2.0	

2 - (2) 進入路 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
進入路1			
掘削工	既設進入路掘削 254.54 = 254.54	m3	254.5
土砂等運搬工	254.54/0.9 = 282.82	m3	282.8
路体盛土工 (B≥4.0m)	$0.3/2 \times 0.90 + (0.3+10.0)/2 \times 1.10$ $+ (10.0+22.4)/2 \times 4.5 + 22.4/2 \times 15.7$ = 254.54	m3	254.5
洪水吐進入路			
大型土のう製作・設置・撤去	洪水吐侵入路図（仮設）より 49.4m ³ ×1袋/m ³ = 49.40	袋	50.0
	大型土のう空袋重量 = 2.00	kg/袋	2.0
	50袋×2kg/1000 = 0.100	ton	0.10
運搬工 (廃プラスチック, 大型土のう空袋)	1.00 = 1.00	台	1.0
処分工 (廃プラスチック, 大型土のう空袋)	50×2 = 100.00	kg	100.0
敷鉄板設置・撤去工	72.00 = 72.00	m ²	72.0
角材（洪水吐側壁保護用）	6×6×400cm 1等杉 片側1本×両岸 = 2.00	本	2.0

2 - (3) 施工ヤード 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
施工ヤード				
小運搬工（セメント系固化材）	計算書より	ton	60.3	
地盤改良工 （施工ヤード, セメント系固化材, 改良深1.5m）	計算書より	m2	157.7	
敷鉄板設置・撤去工	計算書より	m2	363.5	

2 - (3) 施工ヤード 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
施工ヤード			
小運搬工（セメント系固化材）	仮設図より セメント系固化材添加量 255kg/m3 157.7(m2)*1.5(m) = 236.550 236.55*255/1000 = 60.3203	m3 ton	60.320
地盤改良工（セメント系固化材、 改良深1.5m、添加量255kg/m3）	157.70 = 157.70	m2	157.7
敷鉄板設置・撤去工	120.2+171.8+16.7+51.1+3.7 = 363.50	m2	363.5

2 - (4) 仮締切排水工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
仮締切排水工				
仮締切土工	計算書より	m3	89.2	
排水用釜場設置工	計算書より	箇所	1.0	
排水用釜場撤去工	計算書より	箇所	1.0	
排水ポンプ据付撤去工	計算書より	箇所	1.0	
排水ポンプ運転工	計算書より	箇所	1.0	
暗渠排水管据付・撤去工 (φ 600mm)	図面より	箇所	1.0	

2 - (4) 仮締切排水工 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
仮締切排水工				
仮締切土工	$(1.1\text{m}+0.5\text{m}) \times 1.0\text{m} / 2 \times (111.48\text{m})$	= 89.18	m ³	89.2
排水用釜場設置工	1.00	= 1.00	箇所	1.0
排水用釜場撤去工	1.00	= 1.00	箇所	1.0
排水ポンプ据付撤去工	1.00	= 1.00	箇所	1.0
排水ポンプ運転工	1.00	= 1.00	箇所	1.0
暗渠排水管据付・撤去工	10.00	= 10.00	m	10.0
(φ600mm)	1.00	= 1.00	箇所	1.0

2 - (5) 産業廃棄物処理工 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
産業廃棄物処理工				
小運搬工（廃プラスチック, 改良材空袋）	計算書より	ton	0.12	
運搬工（廃プラスチック, 改良材空袋）	計算書より	台	1.0	
処分工（廃プラスチック, 改良材空袋）	計算書より	kg	122.0	
運搬工（廃プラスチック, 土木シート）	計算書より	台	1.0	
処分工（廃プラスチック, 土木シート）	計算書より	kg	111.0	

2 - (5) 産業廃棄物処理工 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
産業廃棄物処理工			
小運搬工（廃プラスチック、改良材空袋）	固化材(1.0ton/袋)使用量 (157.7*1.5)*255/1000 = 60.32	袋	
堤体からストックヤード	改良材空袋重量 61*2/1000 = 0.120	kg/袋 ton	0.12
運搬工（廃プラスチック、改良材空袋）	1.00 = 1.00	台	1.0
処分工（廃プラスチック、改良材空袋）	61*2 = 122.00	kg	122.0
運搬工（廃プラスチック、土木シート）	1.00 = 1.00	台	1.0
処分工（廃プラスチック、土木シート）	土木シート処分重量0.569kg/m2(過年度近傍地区実績及び前年度出来高より) 195.1*0.569 = 111.01	kg	111.0

2－（6）安全費 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
安全費				
交通誘導警備員		人	3.0	

3 運搬費 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
運搬費				
敷鉄板輸送費（ストックヤード）	計算書より	ton	108.873	
小運搬工（ストックヤードから堤体）	計算書より	ton	75.189	
小運搬工（堤体からストックヤード）	計算書より	ton	75.189	

3 運搬費 数量計算書

名 称		略 図 及 び 計 算 式			単 位	数 量
運搬費						
敷鉄板輸送費 （ストックヤード）	布設面積	ストックヤード	=	195.10	m2	
		施工ヤード	=	363.50	m2	
		洪水吐進入路	=	72.00	m2	
	合計	195.1+363.5+72.0	=	630.60	m2	
	敷鉄板重量	1604/(1.524*6.096)	=	172.65	kg/m2	
	運搬量	630.6㎡*172.65kg/㎡/1000	=	108.8731	ton	108.873
小運搬工 （ストックヤード から堤体）	布設面積	施工ヤード+洪水吐進入路	=	435.50	m2	
	運搬量	435.5*172.65/1000	=	75.1891	ton	
小運搬工 （堤体から ストックヤード）	布設面積	施工ヤード+洪水吐進入路	=	435.50	m2	
	運搬量	435.5*172.65/1000	=	75.1891	ton	

4 準備費 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	合計	備考
準備費				
伐採工	図面より	ha	0.026	
集積工	図面より	ha	0.026	
運搬工	計算書より	空m3	6.800	
処分工	計算書より	ton	5.400	

4 準備費 数量計算書

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
運搬費			
伐採工	伐木・除根作業位置図より 260.4/10000 = 0.0260	ha	0.026
集積工	260.4 = 0.0260	ha	0.026
運搬工	5.4ton/0.8ton/m3 = 6.750	空m3	6.8
処分工	昨年度実績より 今年度伐採面積×昨年度撤去枝葉1m2あたり処分量 260.4m2×0.020656t/m2 = 5.380 洪水吐進入路使用角材処分量 0.06m*0.06m*4m*2本=0.0288 = 0.0288 m3 0.0288m3*0.8ton/m3 = 0.02304 ton 5.380+0.02304 = 5.40304	ton	5.40

5 技術管理費 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	計	備考
技術管理費				
配合試験		試料	2.0	

6 一括計上価格 数量集計表

土質・施工方法等	計算式	単位	計	備考
一括計上価格				
六価クロム溶出試験		検体	1.0	
処分工（金属くず）	33.3(m)*10.0(kg/m)	ton	0.33	

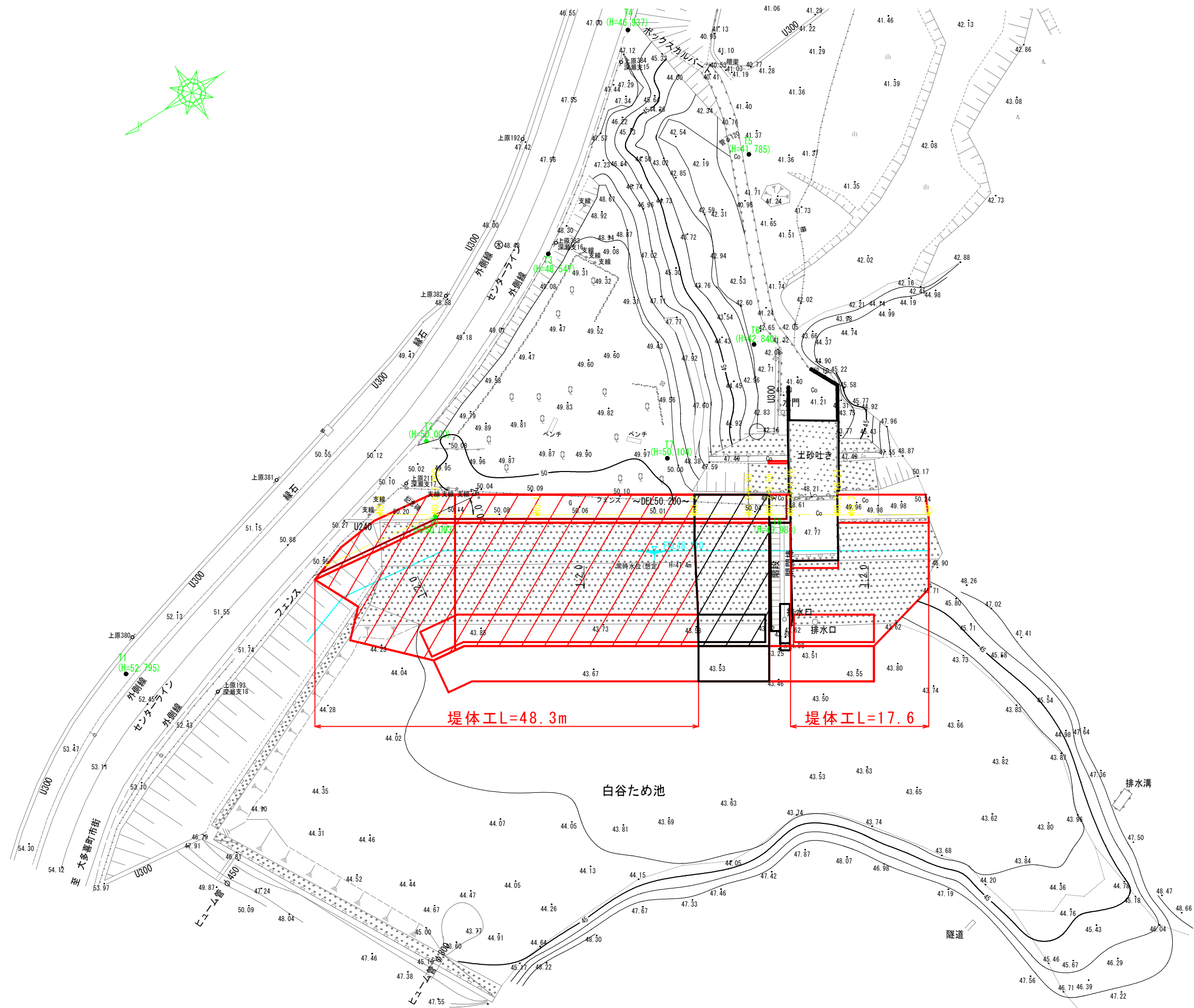
令和8年度 ため池整備事業 白谷地区
白谷ため池改修工事その2

図 面 目 録

図面 番号	名 称	枚 数	備考
1	位置図	1	
2	計画平面図	1	
3	標準断面図	1	
4	土工図	5	
5	段切一般図	1	
6	地盤工改良図	1	
7	撤去図	1	
8	伐採・除根作業位置図	1	
参考1	仮設図(参考)	1	
参考2	洪水吐進入路図 (仮設)	1	
計		14	



計画平面図 S=1:250

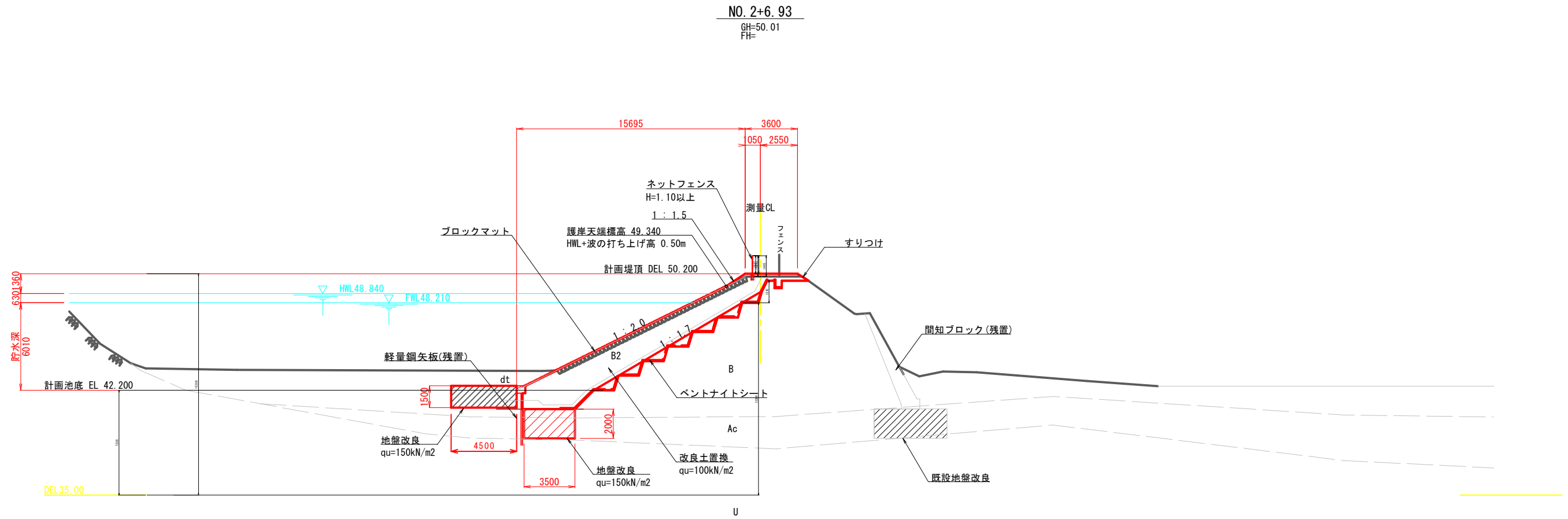


白谷ため池諸元			
項目	現況	計画	単位
常時満水位	FWL 48.210	48.210	m
設計洪水水位	HWL -	48.840	m
堤頂標高	DEL 49.99~50.32	50.200	m
貯水量	V 7,100	7,100	m3
流域面積	Ac 0.202	0.202	km2
満水面積	Ar 0.0046	0.0046	km2

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	2
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

標準断面図

S=1:150

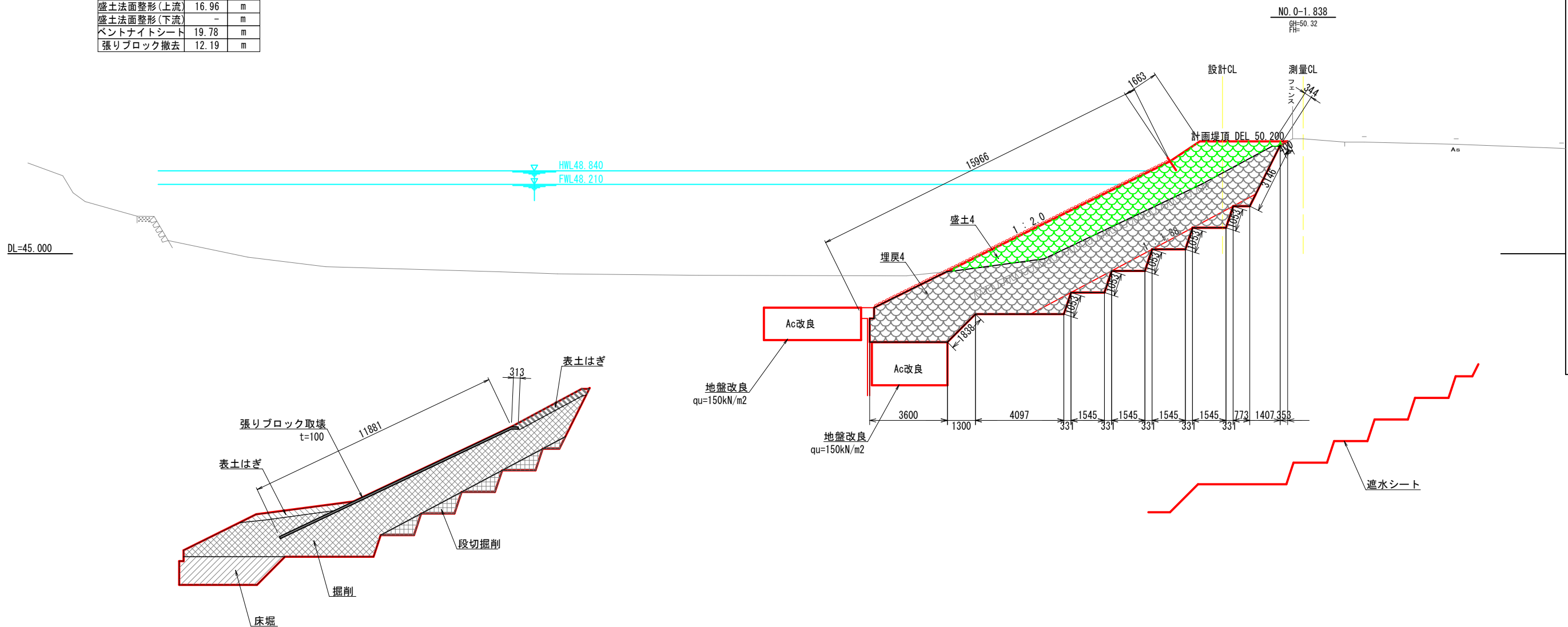


工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	3
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

土工図1
S=1:100

NO. 0-1.838

項目	数量	単位
表土はぎ	2.46	m2
掘削	31.24	m2
段切掘削	3.31	m2
床掘	5.49	m2
段切部法面整形	10.25	m
段切部水平面整形	14.65	m
埋戻1	-	m2
埋戻2	-	m2
埋戻3	-	m2
埋戻4	43.71	m2
盛土1	-	m2
盛土2	-	m2
盛土3	-	m2
盛土4	20.07	m2
盛土法面整形(上流)	16.96	m
盛土法面整形(下流)	-	m
ペントナイトシート	19.78	m
張りブロック撤去	12.19	m

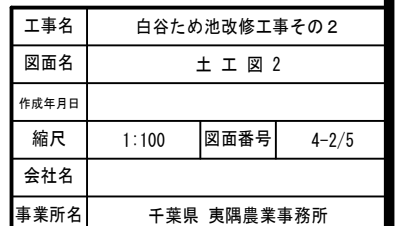
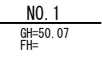


凡例

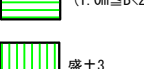
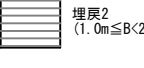
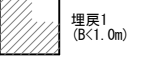
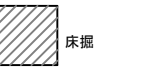
- 表土はぎ
- 床掘
- 掘削
- 段切り掘削
- 埋戻1 (B<1.0m)
- 埋戻2 (1.0m≤B<2.5m)
- 埋戻3 (2.5m≤B<4.0m)
- 埋戻4 (4.0m≤B)
- 盛土1 (B<1.0m)
- 盛土2 (1.0m≤B<2.5m)
- 盛土3 (2.5m≤B<4.0m)
- 盛土4 (4.0m≤B)

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	土工図1		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-1/5
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

$D=20.000$



表土はぎ



DL=45. 000

D=20. 000

S=1:100



	表土はぎ
	床掘
	掘削
	段切り掘
	埋戻1 (B<1.0m)
	埋戻2 (1.0m≤)
	埋戻3 (2.5m≤)
	埋戻4 (4.0m≤)
	盛土1 (B<1.0m)
	盛土2 (1.0m≤)
	盛土3 (2.5m≤)
	盛土4 (4.0m≤)

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	土 工 図 3		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-3/5
会社名			
事業所名	千葉県 夷陽農業事務所		

洪水吐部標準断面
(NO. 2+12.26断面流用)

項目	数量	単位
表土はぎ	-	m2
掘削	15.57	m2
段切掘削	1.40	m2
床掘	6.05	m2
段切部法面整形	7.45	m
段切部水平面整形	6.40	m
埋戻1	0.15	m2
埋戻2	1.65	m2
埋戻3	3.06	m2
埋戻4	18.10	m2
盛土1	0.57	m2
盛土2	-	m2
盛土3	-	m2
盛土4	-	m2
盛土法面整形(上流)	9.17	m
盛土法面整形(下流)	-	m
ベントナイトシート	11.66	m
張りブロック撤去	8.33	m

土工図 4

S=1:100

洪水吐部標準断面
(NO. 2+12.26断面流用)

GH=49.99
FH=

測量CL

L=6.686 M

コンクリート打設 18N
(洪水吐前面 シート押え用)

HWL48.840
FWL48.210

埋戻1
埋戻2

盛土1

埋戻3

EL 44.200

EL 43.200

EL 42.200

EL 40.900

埋戻4

地盤改良
qu=150kN/m2

地盤改良
qu=150kN/m2

3500

3600

4000

遮水シート

NO. 2+18.21

項目	数量	単位
表土はぎ	3.09	m2
掘削	27.63	m2
段切掘削	4.65	m2
床掘	5.49	m2
段切部法面整形	9.73	m
段切部水平面整形	14.12	m
埋戻1	0.64	m2
埋戻2	1.13	m2
埋戻3	5.16	m2
埋戻4	33.79	m2
盛土1	1.92	m2
盛土2	-	m2
盛土3	0.50	m2
盛土4	0.40	m2
盛土法面整形(上流)	16.96	m
盛土法面整形(下流)	4.98	m
ベントナイトシート	21.75	m
張りブロック撤去	14.37	m

NO. 2+18.21

GH=50.01
FH=

測量CL

計画堤頂 DEL 50.200

埋戻1

埋戻2

埋戻3

埋戻4

盛土1

盛土2

盛土3

盛土4

地盤改良
qu=150kN/m2

地盤改良
qu=150kN/m2

3500

3600

4000

遮水シート

凡例

- 表土はぎ
- 床掘
- 掘削
- 段切り掘削
- 埋戻1 (B<1.0m)
- 埋戻2 (1.0m≤B<2.5m)
- 埋戻3 (2.5m≤B<4.0m)
- 埋戻4 (4.0m≤B)
- 盛土1 (B<1.0m)
- 盛土2 (1.0m≤B<2.5m)
- 盛土3 (2.5m≤B<4.0m)
- 盛土4 (4.0m≤B)

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	土工図 4		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-4/5
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

土工図 5

S=1:100

NO. 3

項目	数量	単位
表土はぎ	0.23	m2
掘削	27.18	m2
段切掘削	4.65	m2
床掘	5.49	m2
段切部法面整形	9.60	m
段切部水平面整形	14.12	m
埋戻1	0.65	m2
埋戻2	1.19	m2
埋戻3	12.29	m2
埋戻4	26.11	m2
盛土1	2.56	m2
盛土2	-	m2
盛土3	0.47	m2
盛土4	0.42	m2
盛土法面整形(上流)	16.96	m
盛土法面整形(下流)	5.05	m
ベントナイトシート	21.75	m
張りブロック撤去	14.52	m

D=1.790

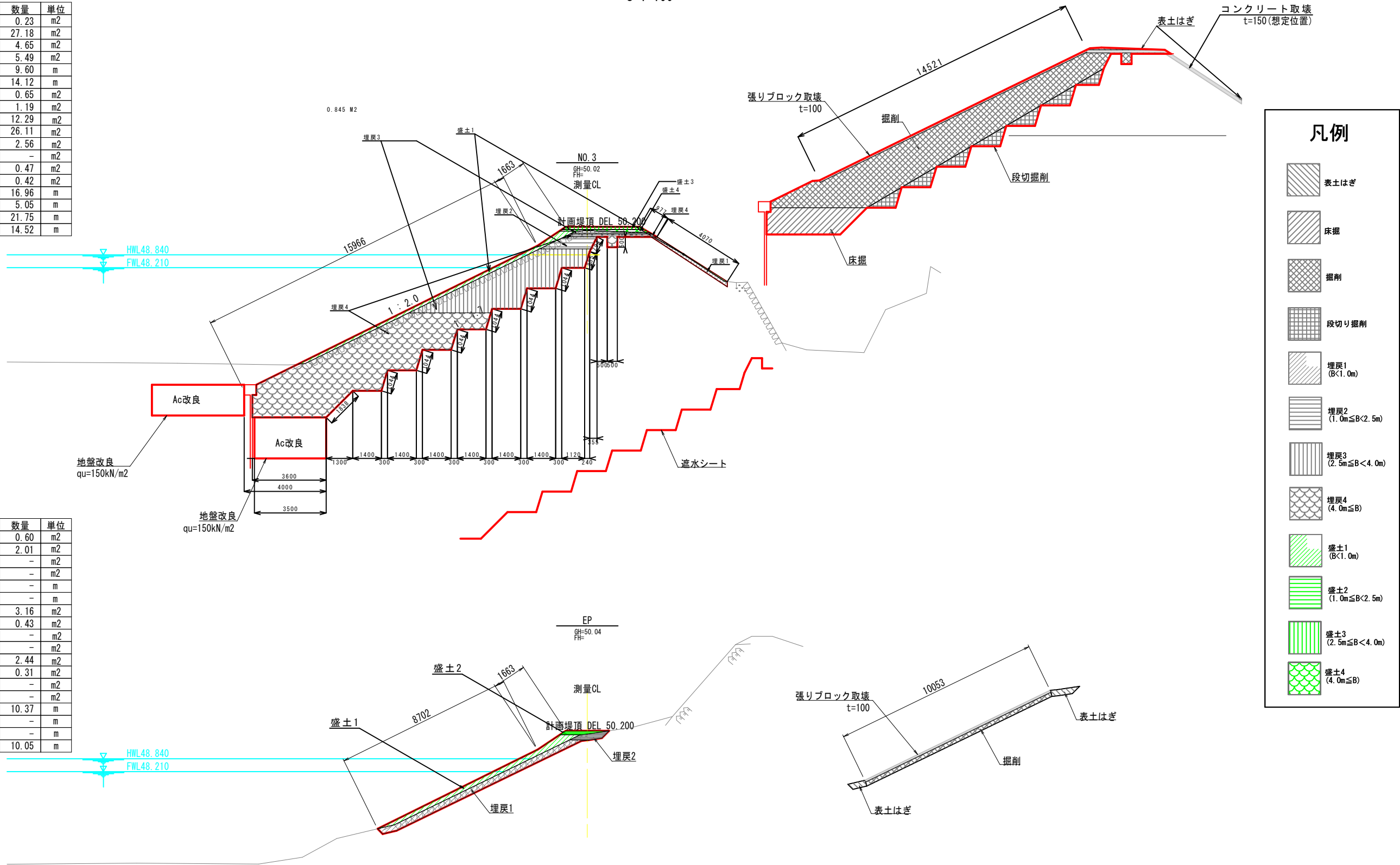
DL=45.000

EP

項目	数量	単位
表土はぎ	0.60	m2
掘削	2.01	m2
段切掘削	-	m2
床掘	-	m2
段切部法面整形	-	m
段切部水平面整形	-	m
埋戻1	3.16	m2
埋戻2	0.43	m2
埋戻3	-	m2
埋戻4	-	m2
盛土1	2.44	m2
盛土2	0.31	m2
盛土3	-	m2
盛土4	-	m2
盛土法面整形(上流)	10.37	m
盛土法面整形(下流)	-	m
ベントナイトシート	-	m
張りブロック撤去	10.05	m

D=9.857

DL=45.000

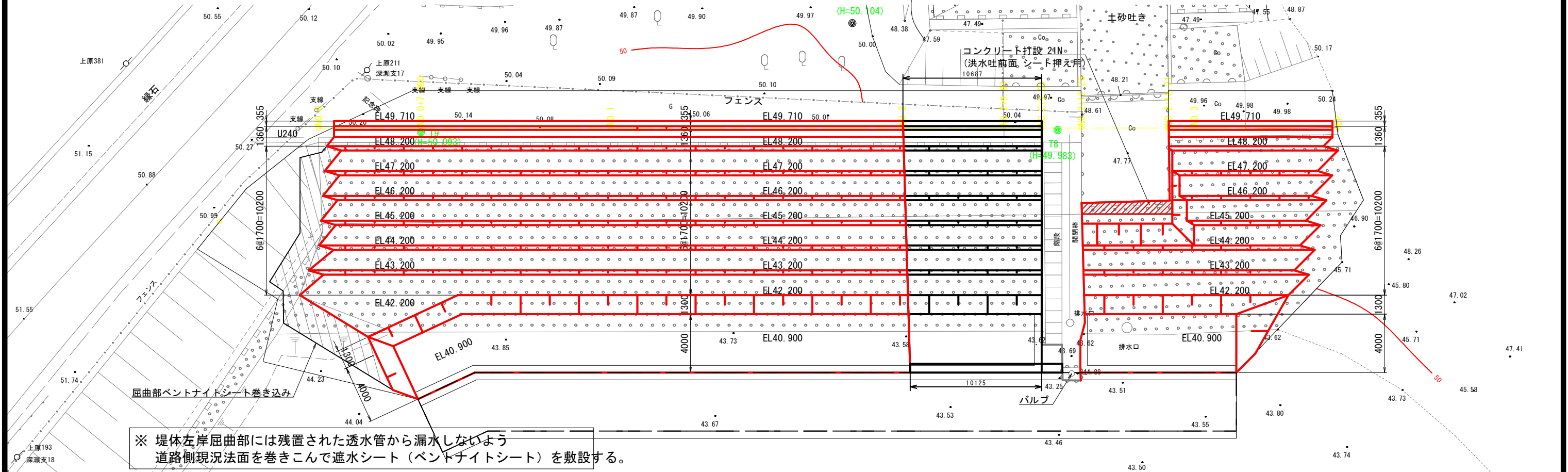


工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	土工図 5		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-5/5
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

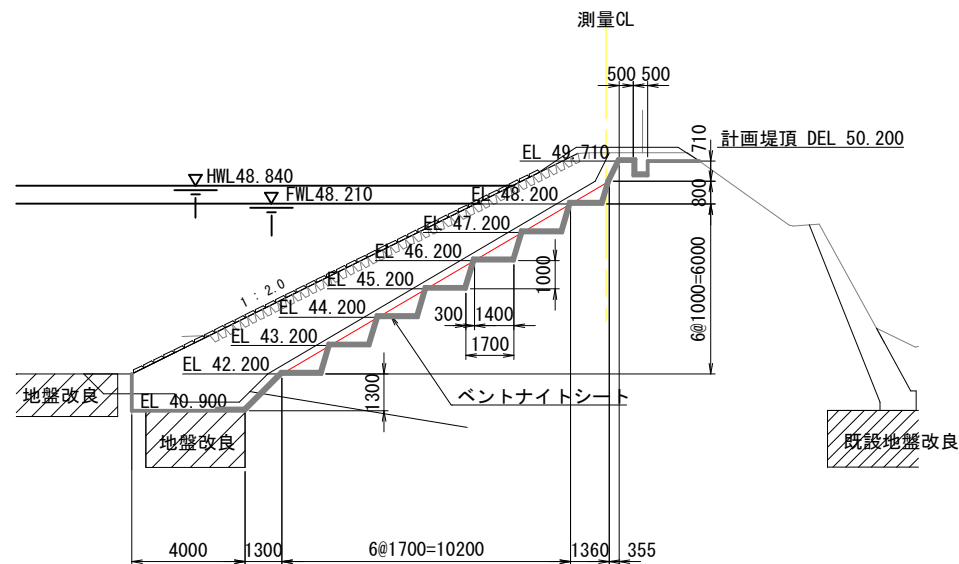
段切一般図

S=1:150

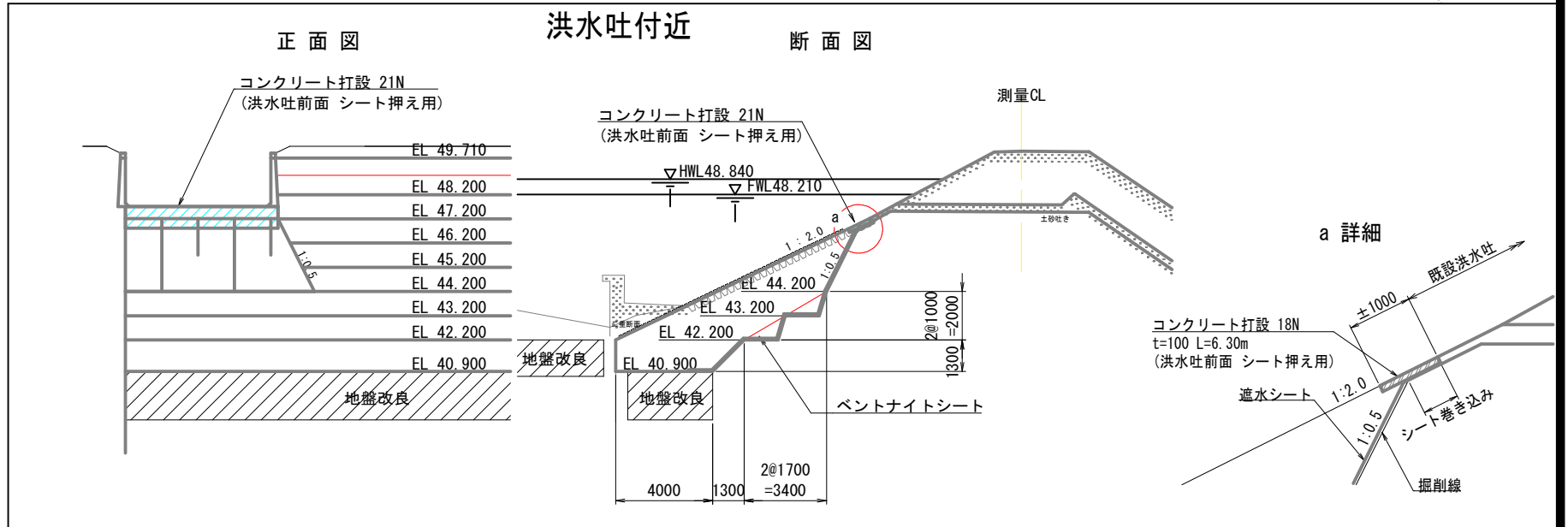
平面図



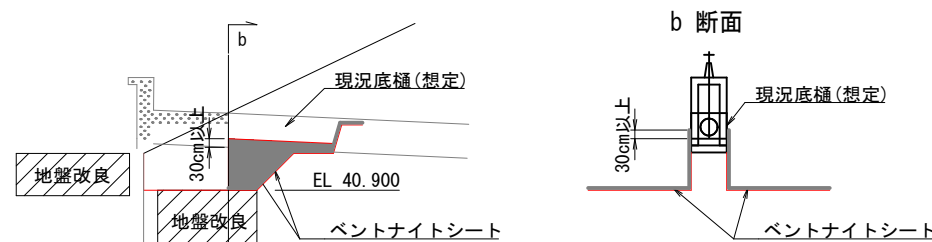
標準断面図



洪水吐付近



取水施設池敷付近



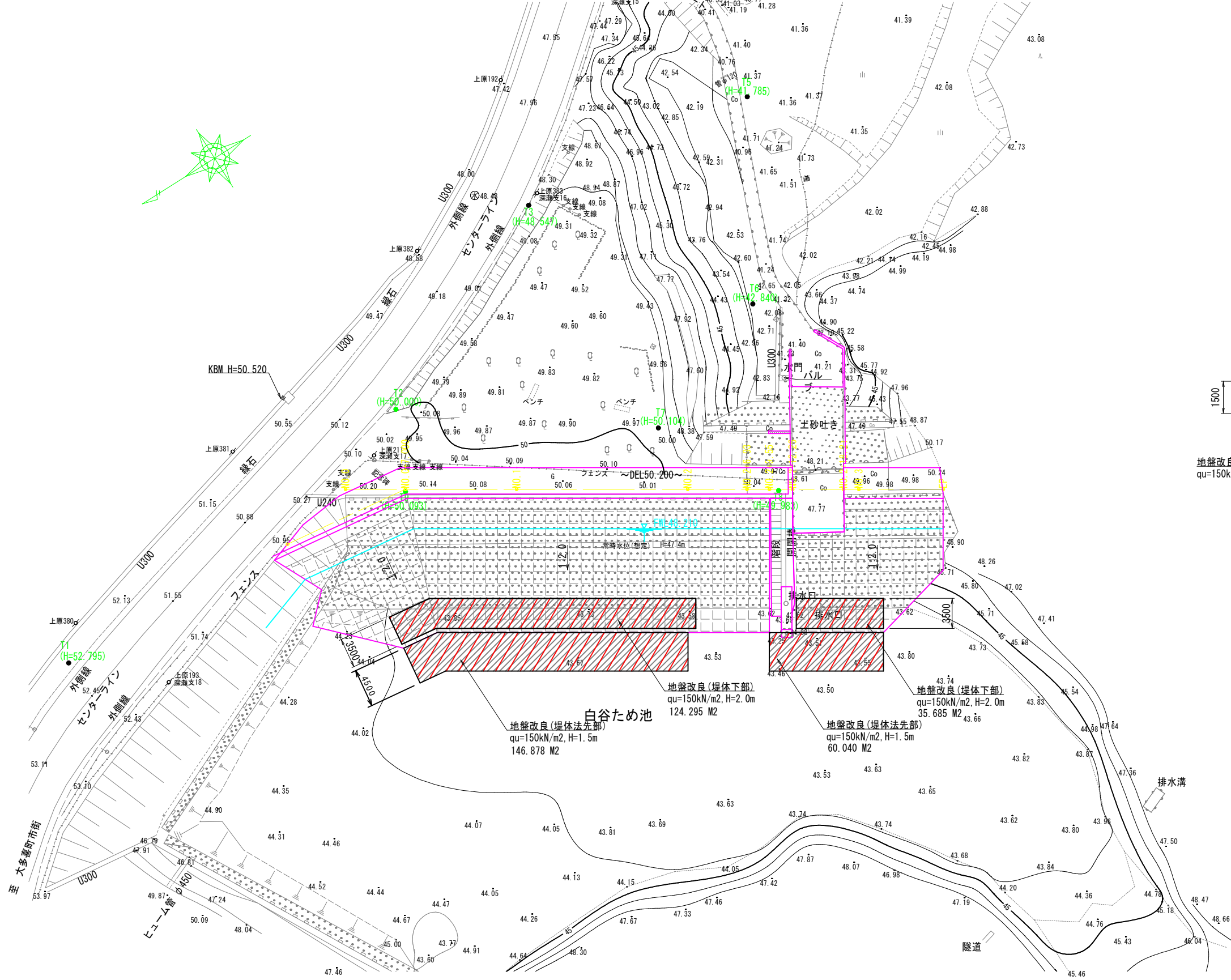
※ 掘削時に露出する構造物に30cm以上接着する形でシートを敷設する。

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	段切一般図		
作成年月日			
縮尺	1:150	図面番号	5
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

地盤改良工図

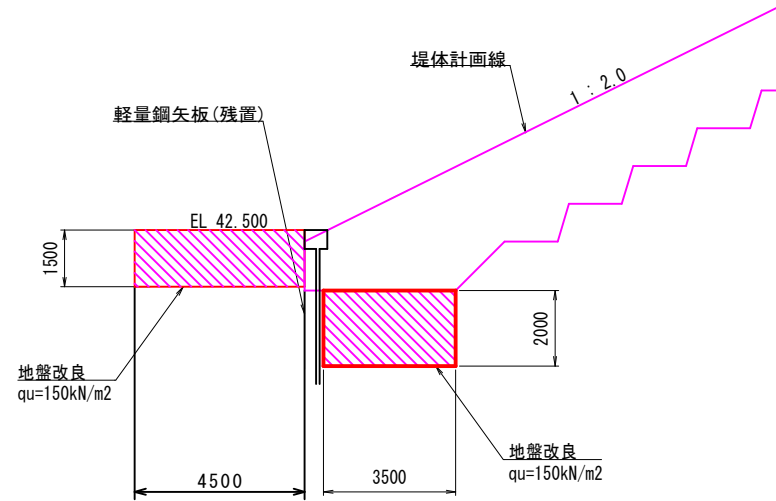
平面図

縮尺 1:250



地盤改良工 標準図
S=1:100

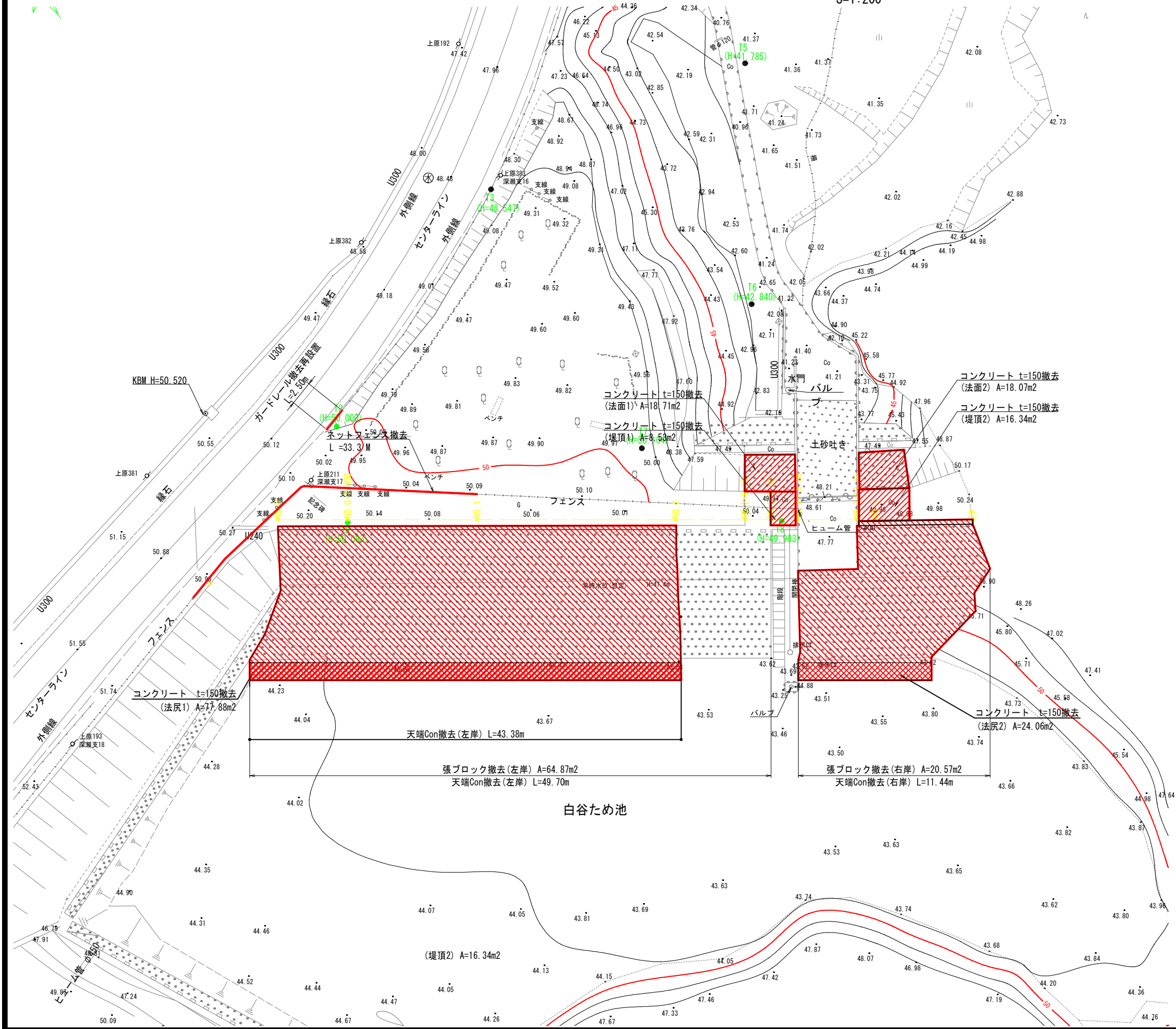
1 : 1.5



工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	地盤改良工図		
作成年月日			
縮尺	1:250	図面番号	6
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

撤去工平面図

S=1:200



コンクリート (t=150) 撤去 数量表 単位 : m2

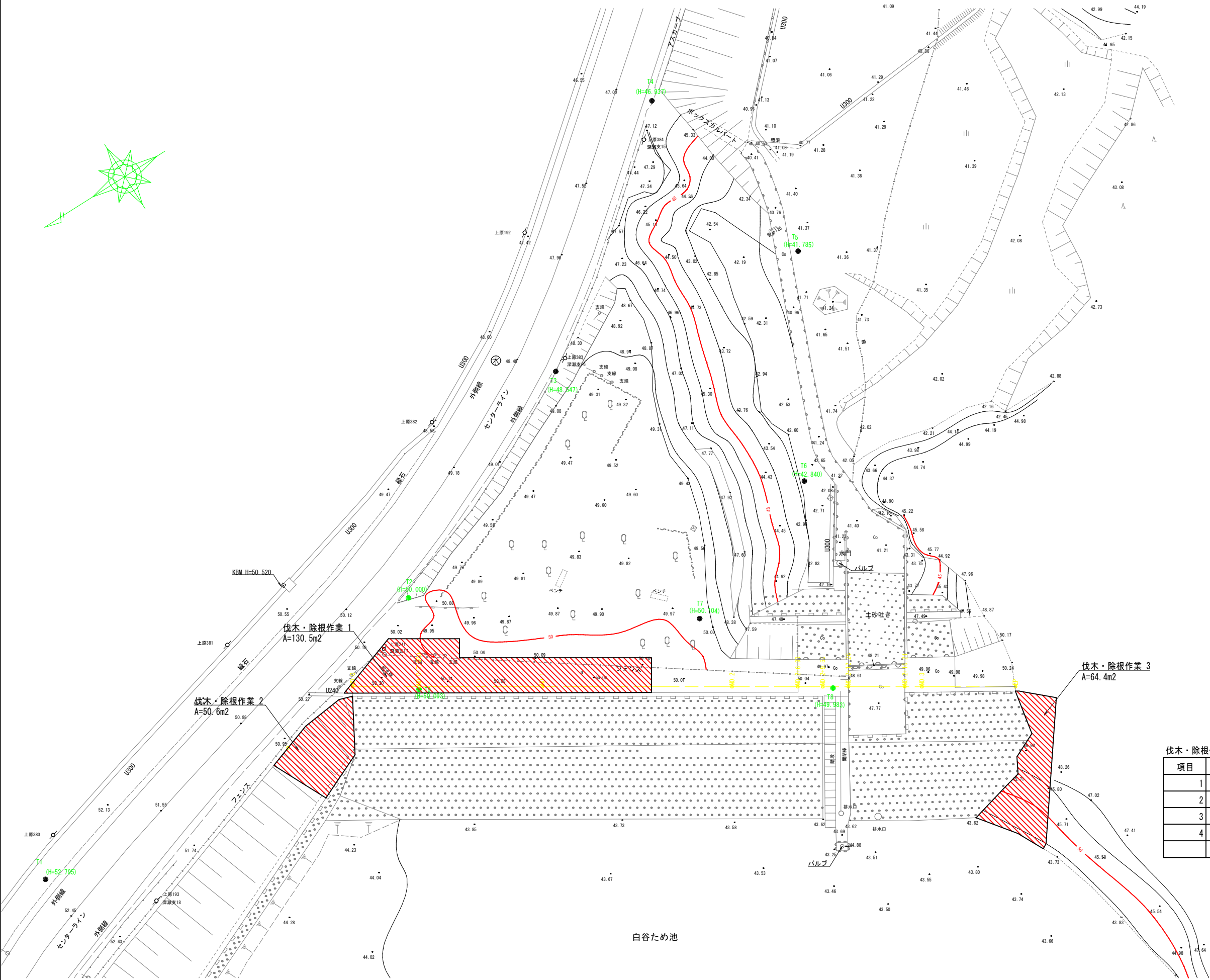
項目	平積	勾配	数量	備考	斜長係数
堤頂1	8.53		8.5	左岸側	
法面1	18.71	1:1.4	23.0	左岸側	1.2289
		計	31.5		
堤頂2	16.34		16.3	右岸側	
法面2	18.07	1:1.4	22.2	右岸側	1.2289
		計	38.5		
堤体法尻1	77.88		77.9	右岸側	
堤体法尻2	24.06		24.1	左岸側	
		計	102.0		
		合計	172.0		

鉄筋コンクリート及び張りブロック撤去数量は、別途集計

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	撤去図		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	7
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

伐木・除根作業位置図

S=1:200



伐木・除根作業 数量表

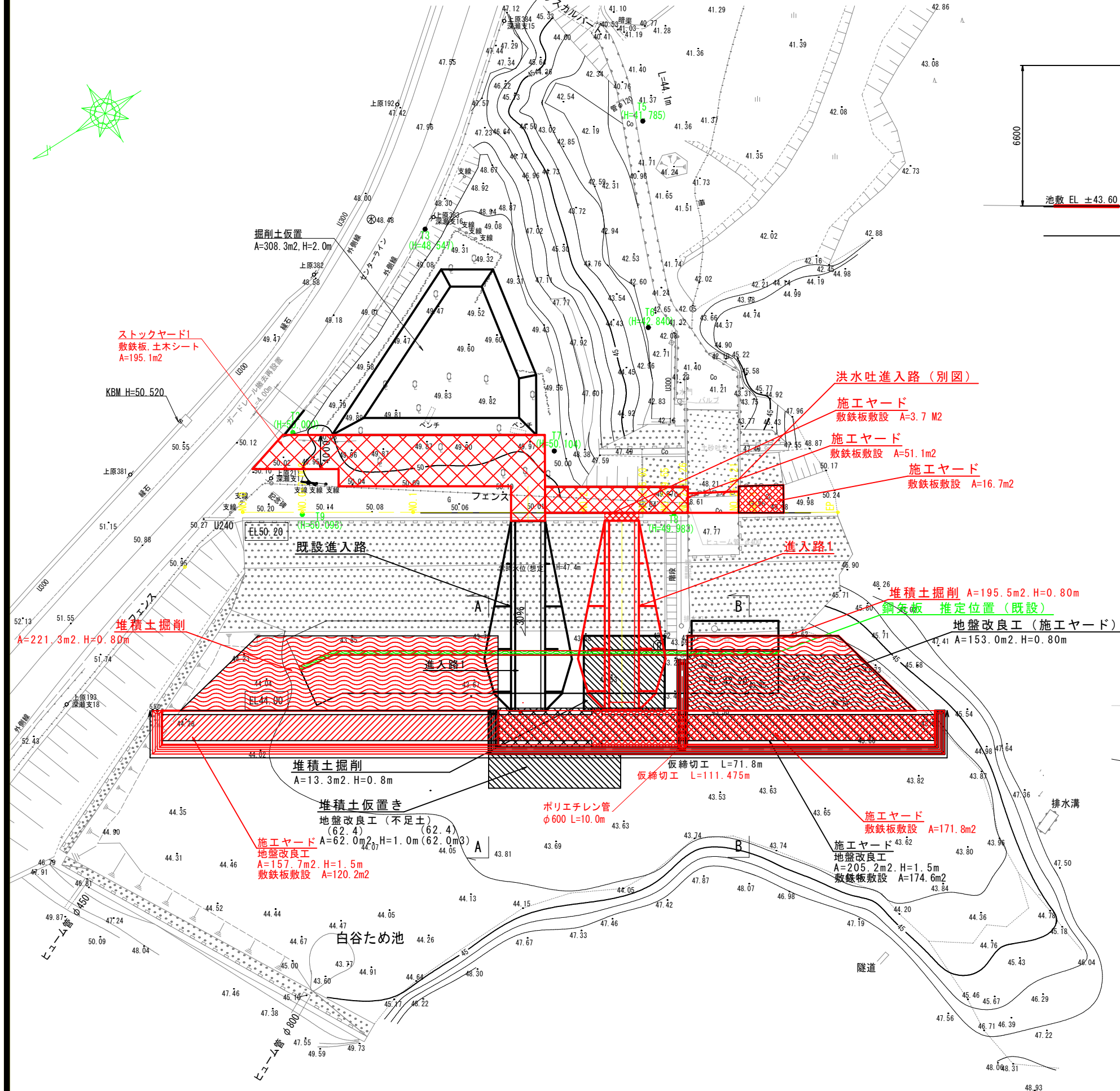
項目	平積	勾配	数量(m2)	備考	斜長係数
1	130.5	水平	130.5		1
2	50.6	1:1.8	57.9		1.14396
3	64.4	1:2.0	72.0		1.11803
4					
			260.4		

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	伐木・除根作業位置図		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

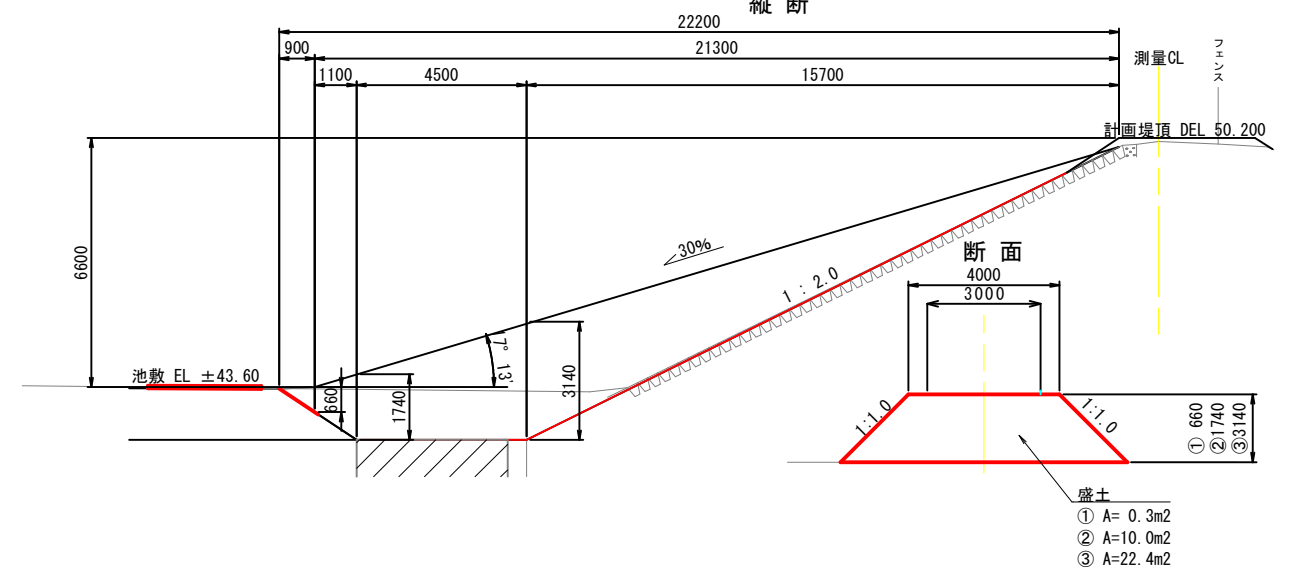
仮設図（参考）

S=1:250

平面図 S=1:250

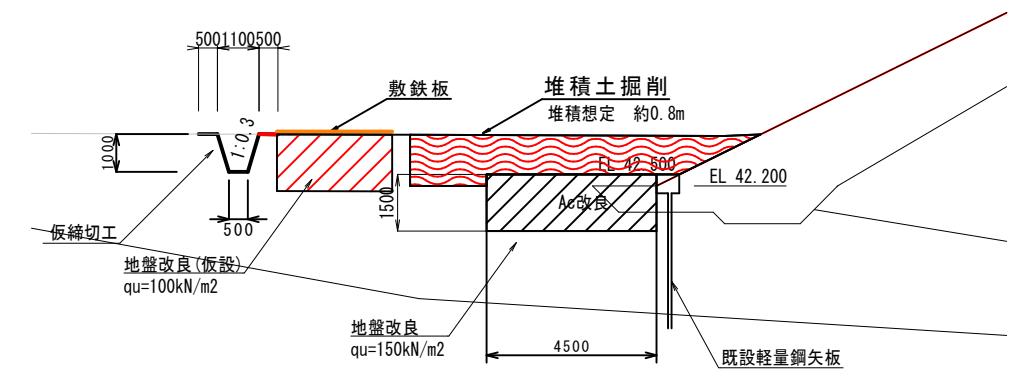


進入路1 標準図 S=1:100

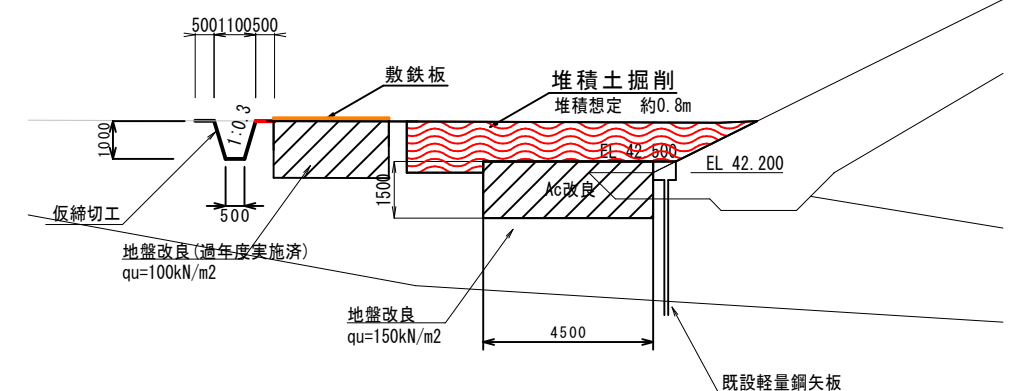


仮設 標準断面図
A-A 断面図

S=1:100



B-B 断面図



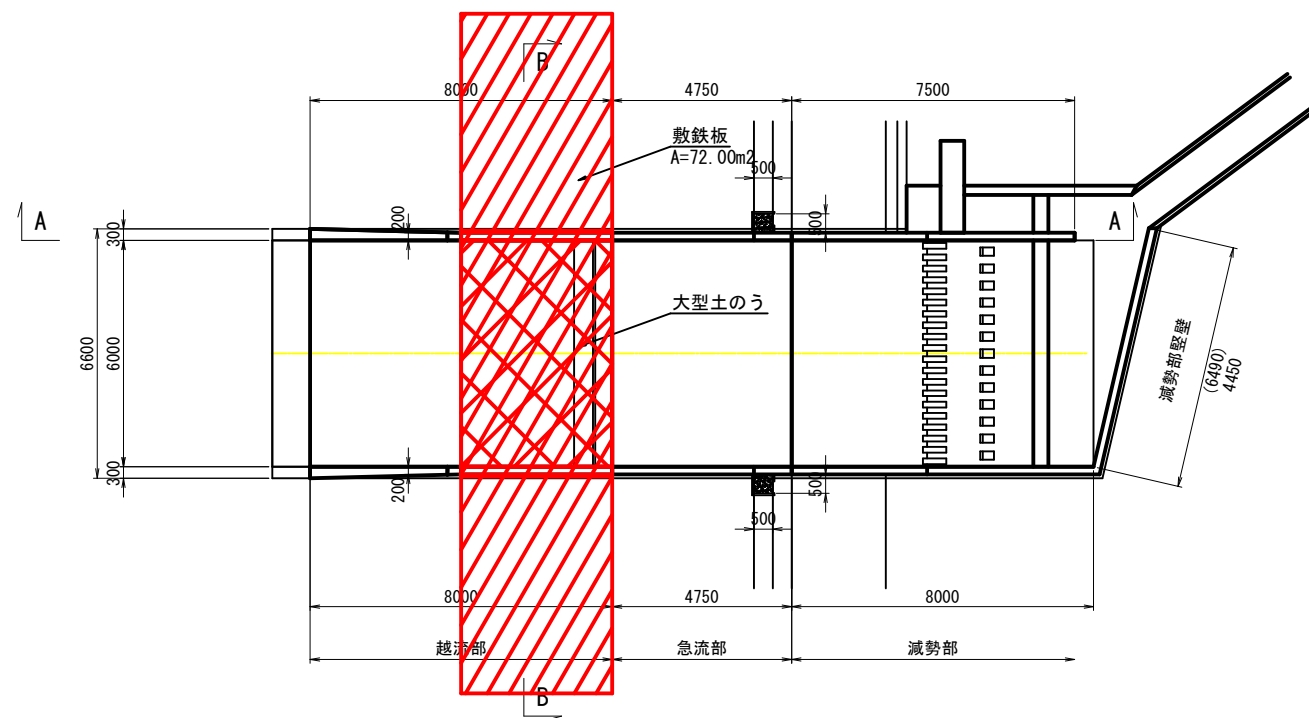
参考図

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	仮設図(参考)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	参考1
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

洪水吐進入路図（仮設）

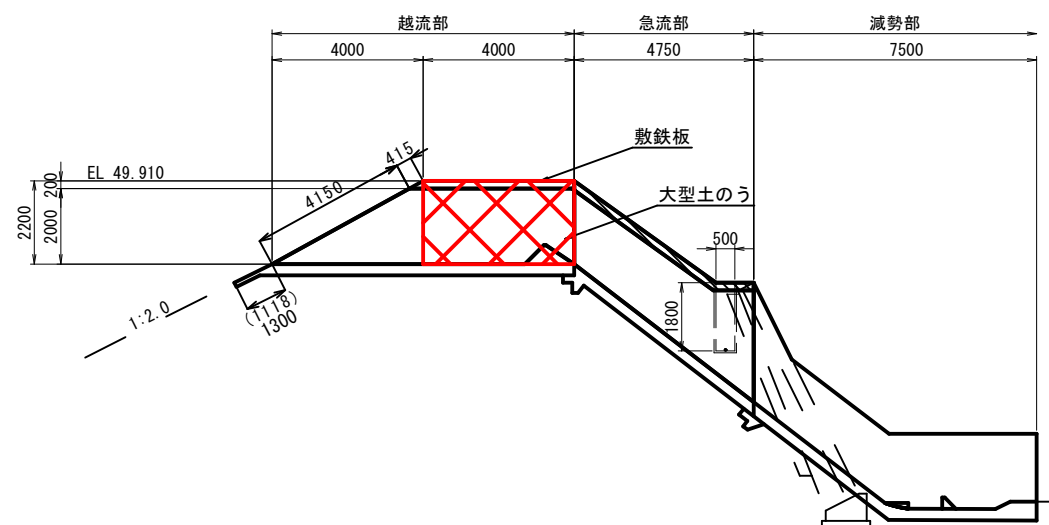
平面図

S=1:100



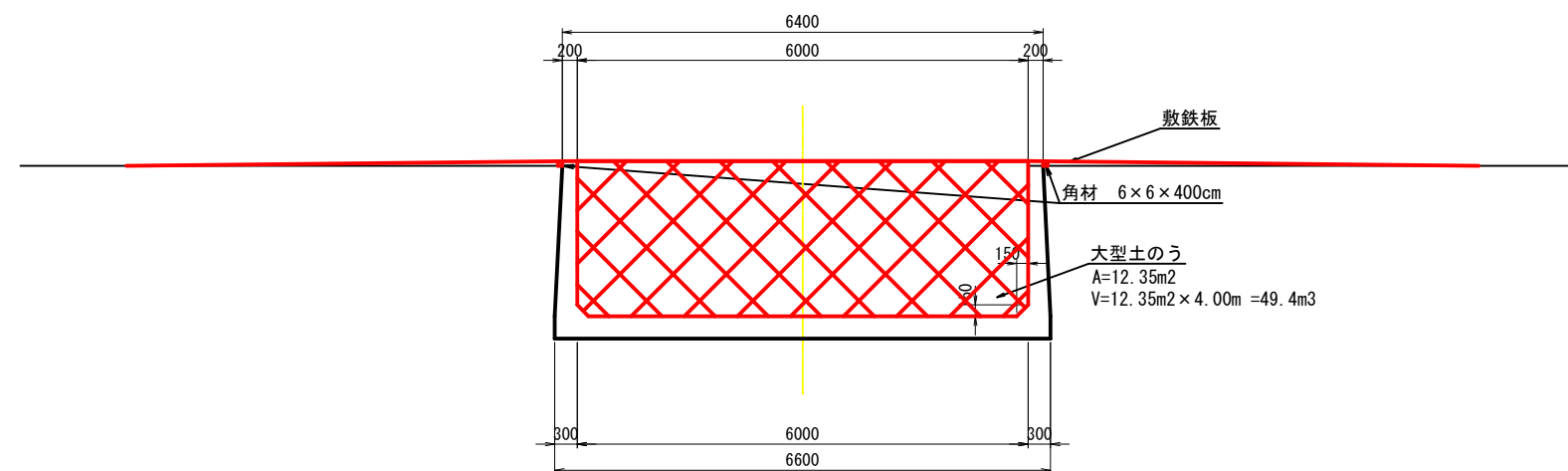
A - A 断面

S=1:100



B - B 断面

S=1:50



参考図

工事名	白谷ため池改修工事その2		
図面名	洪水吐進入路図（仮設）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	参考2
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		